

奈良中心市街地公共交通総合連携計画（案）

令和8年1月

奈良中心市街地公共交通活性化協議会

－ 目 次 －

1. 計画の概要	1
1.1 計画の目的	1
1.2 計画の位置づけ	1
1.3 計画対象期間	2
1.4 計画対象区域	3
1.5 基本理念 ～奈良中心市街地の目指すべき交通のすがた～	4
2. R5 連携計画の計画目標達成状況	5
2.1 R5 連携計画の計画目標	5
2.2 R5 連携計画の計画目標達成状況	6
2.2.1 計画目標（1）の達成状況	6
2.2.2 計画目標（2）の達成状況	7
2.2.3 計画目標（3）の達成状況	9
3. R5 連携計画策定後の交通状況等の変化	10
3.1 観光客数等の変化	10
3.1.1 観光客の推移	10
3.1.2 外国人観光客の推移	11
3.1.3 観光情報の取得状況	12
3.2 公共交通利用等の変化	13
3.2.1 公共交通利用による観光客の推移	13
3.2.2 ぐるっとバスの利用状況	14
3.2.3 木簡型一日乗車券の販売状況	17
3.2.4 パーク＆サイクルライドの利用状況	18
3.2.5 観光バスターミナルの利用状況	19
3.3 自動車交通の変化	20
3.3.1 奈良中心市街地の自動車交通量の変化	20
3.3.2 観光シーズン（休日）の交通量の変化	20
3.3.3 奈良公園方面への渋滞発生状況（昼間）	22
3.3.4 大阪方面への渋滞発生状況（夕方）	26
3.3.5 P&R 駐車場の利用状況	28

3.4 マイカー通勤の状況	31
4. 交通状況等の変化を踏まえた取組方針	32
5. 本計画の計画目標	33
5.1 計画目標と具体目標.....	33
5.2 具体目標の目標値	34
6. 実施施策.....	36
6.1 施策体系	36
6.2 施策スケジュール.....	37
6.3 施策概要	38
6.3.1 施策 1) 観光施設間の移動環境の充実	38
6.3.2 施策 2) 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築	43
6.3.3 施策 3) 自動車の需要調整.....	44
6.3.4 施策 4) 公共交通利用促進に資する効果的な広報.....	48
6.3.5 施策 5) モビリティ・マネジメントの実施	51
7. 推進体制.....	52
7.1 推進体系	52
7.2 PDCA サイクルによる事業推進	53
【参考資料 1】検討の経緯	55

1. 計画の概要

1.1 計画の目的

奈良中心市街地は、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする重要な史跡・文化財が数多く点在する地域です。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年における観光入込客数は約1,741万人に達しています。その一方、観光を目的とした自動車交通の増加によって、奈良中心市街地における交通渋滞や環境悪化などの問題が深刻であり、環境負荷の小さい交通体系の構築が求められています。新型コロナウイルス5類移行後は観光来訪が回復し、令和元年の水準には戻っていないものの春秋の観光シーズンでは、道路の渋滞が発生しています。

これらの問題に対応するため、奈良中心市街地での移動について、行政と地域住民、交通事業者などの関係者が一体となり、総合的な検討を進めることにより、快適な公共交通環境を整え、公共交通を中心とした交通システムを構築し、地域の快適性向上と活性化を図るとともに、観光客の満足度向上と世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護を目指します。

1.2 計画の位置づけ

平成23年3月に「奈良中心市街地公共交通総合連携計画（以降、H23連携計画）」を策定し、これまで観光客及び市民双方にとって利用しやすい公共交通の実現に向けて、多様な施策を実施してきました。

H23連携計画策定後、平成25年度、平成28年度、令和元年度、令和4年度にそれぞれ計画目標の達成状況を確認し、各施策の効果検証を行い、計画の見直しを行ってきました。令和5年度からは、令和5年3月に策定した連携計画（以降、R5連携計画）に位置づけた施策を実施しており、令和7年度でR5連携計画の対象期間が終了するため、以下に示す内容を踏まえ、R5連携計画を見直し、新たな連携計画（以降、本計画）を策定しました。

①渋滞対策及び環境対策のさらなる推進

- ・世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護に向けて、奈良中心市街地における観光交通及び日常交通の状況を踏まえ、さらなる公共交通を中心とした交通システムを構築していく必要があります。
- ・奈良公園周辺の自動車流入抑制方法の確立など、観光シーズンの渋滞対策を推進する必要があります。

②持続可能な公共交通体系の構築

- ・ドライバー不足が深刻化する中、持続可能な公共交通体系の構築に向け、地域ぐるみの公共交通の利用促進や、公共交通の情報提供などについて、行政と地域住民、交通事業者などの関係者が協働・連携しながら公共交通サービスの確保・維持に向けた取組を進める必要があります。

③上位・関連計画との整合性

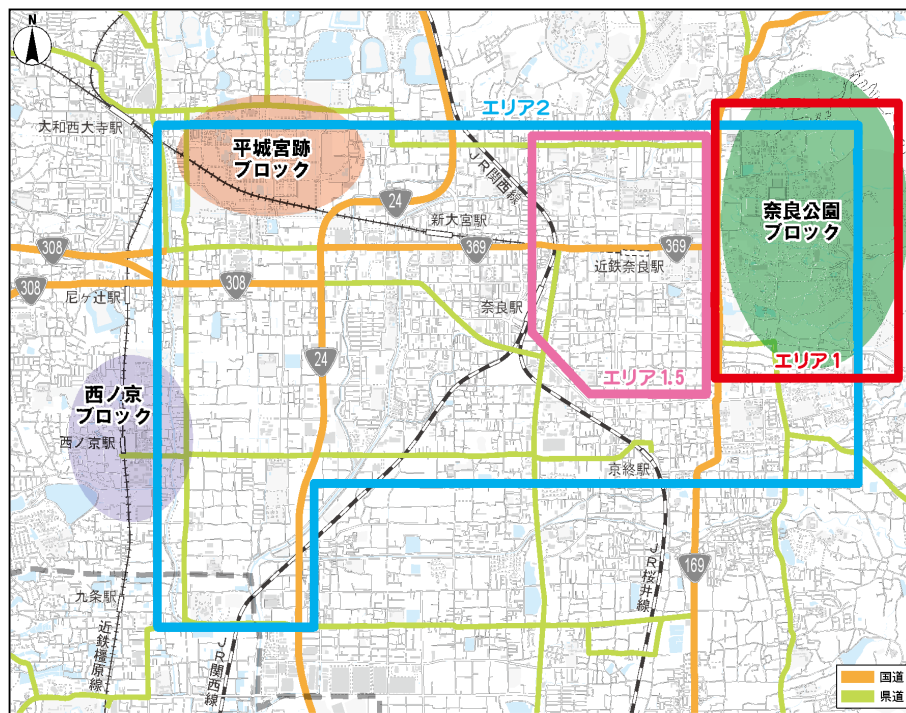
- 「奈良市第5次総合計画（令和4年3月）（以降、総合計画）」では、交通渋滞の解消を図るだけでなく、既存の公共交通の活用を主にして、自転車・徒歩やコミュニティバスに加えて、新しい技術の導入や住民主体型の移動システムなどの多様な移動手法について、地域住民や関係機関等とともに考え、公共交通を生かした効率的で利便性の高い持続可能な交通ネットワークの構築を目指すとしています。また、市民や企業に対して公共交通利用を促すことが示されていることから、総合計画との整合性を確保しつつ取組を進める必要があります。

1.3 計画対象期間

本計画の対象期間は、令和8年度から令和10年度までの3ヶ年とします。

1.4 計画対象区域

本計画の対象区域は、奈良公園・平城宮跡・西ノ京などを含む奈良中心市街地（エリア 1、エリア 1.5、エリア 2）とします。



〔エリア 1：奈良公園周辺〕

- 交通の流入を抑制し、エリア内の駐車場の需要調整やエリア内での観光客の回遊性を高めるなどの施策を実施すべきエリア。

〔エリア 1.5：平城宮跡などの拠点整備状況を踏まえ、優先的に施策を実施する地域〕

- 当面の対策エリアとして、交通の流入を特に少なくするため、優先的に施策を実施すべきエリア。

〔エリア 2：西ノ京～平城宮跡～奈良公園を含んだ地域〕

- 交通の流入をできるだけ少なくするため、エリア周辺でのパーク＆ライド駐車場（バスライド、サイクルライドなど）の設置や周遊バスなど、移動の円滑性を確保するなどの施策を実施すべきエリア。

図 1-1 計画対象区域

1.5 基本理念 ～奈良中心市街地の目指すべき交通のすがた～

奈良中心市街地で観光客・市民双方にとって移動しやすい空間を創出するためには、自動車利用から公共交通利用への転換を促進することが重要であり、そのためには公共交通の利用環境向上に向けて取り組んでいくことが不可欠です。

行政と地域住民、交通事業者などの関係者の積極的な取組はもとより、観光客・市民などの関係者相互の協力により、公共交通で快適に移動できる地域を創出することを念頭に置き、R2、R5 連携計画の基本理念を引き継ぎ、次の理念を掲げるものとします。

地域に親しまれ、観光客に好まれる、 公共交通網の構築による地域活性化の実現

理念①：地域の快適性向上と活性化

理念②：観光客の満足度向上

理念③：世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護

2. R5 連携計画の計画目標達成状況

2.1 R5 連携計画の計画目標

○ R5 連携計画では、3 つの計画目標を設定

R5 連携計画では、奈良中心市街地の課題を解決するための目標として、自動車交通に過度に頼らず、公共交通で快適に移動できる交通体系の確立を目指し、(1)マルチモーダルな移動環境の構築、(2)公共交通利用促進による観光渋滞の緩和、(3)マイカー通勤から他の通勤手段への転換の3つの計画目標を設定しました。また、各計画目標の達成状況を確認するため、以下の目標値を設定しました。

種類	計画目標	目標値
観光 交通	(1) マルチモーダルな移動環境の構築	公共交通利用による観光入込客数： 1,712（万人/年）以上
	(2) 公共交通利用促進による観光渋滞の緩和	奈良中心市街地における旅行速度： 20（km/h）以上
日常 交通	(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	マイカー通勤者 40%未満の事業所割合： 90（%）以上

2.2 R5 連携計画の計画目標達成状況

2.2.1 計画目標（1）の達成状況

○ 計画目標（1）「マルチモーダルな移動環境の構築」は、未達成

(1) マルチモーダルな移動環境の構築：公共交通利用による観光入込客数の増加

奈良中心市街地における移動環境を向上させ、公共交通による周遊観光を促進させることによって、奈良市の公共交通利用による観光入込客数を令和6年までに年間 1,712 万人にすることを目標としました。

公共交通利用による観光入込客数は、平成 22 年に「平城遷都 1300 年祭」があり 1,537 万人となりましたが、翌年の平成 23 年には東日本大震災があり、1,155 万人に減少しました。それ以降は順調に回復し、令和元年には 1,571 万人に増加していましたが、令和 2 年には新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 622 万人と大幅に減少しました。令和 4 年以降順調に回復しているものの、令和6年では 1,313 万人となっており、令和元年の水準まで回復しておらず、目標は未達成です。

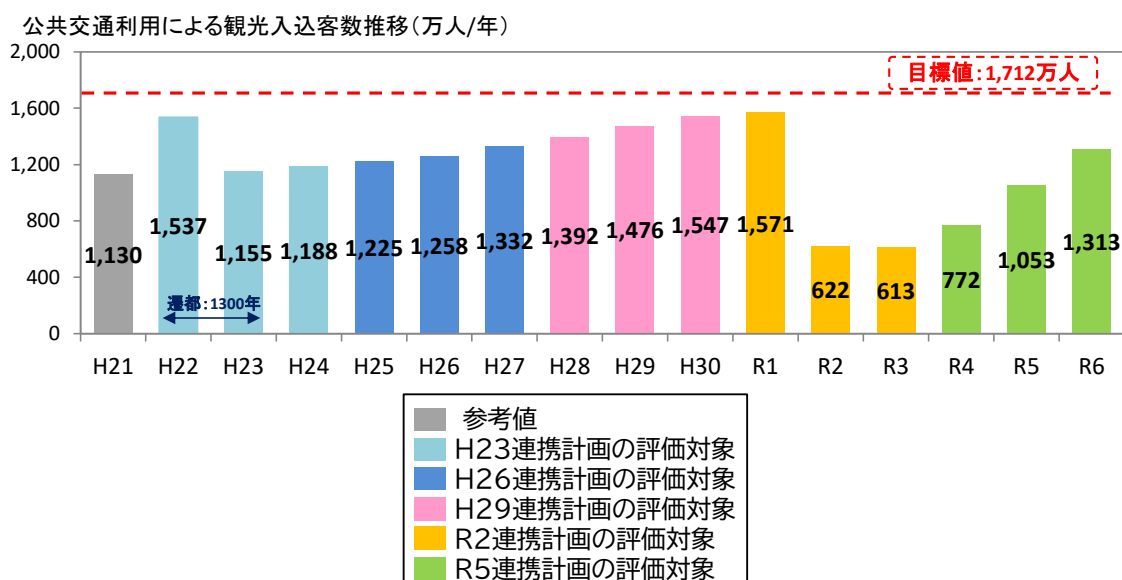
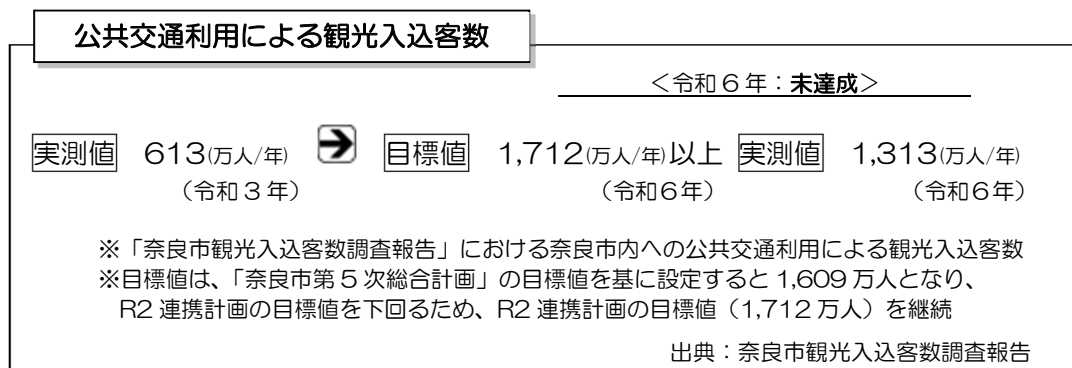


図 2-1 奈良市の公共交通利用による観光入込客数

2.2.2 計画目標（2）の達成状況

○ 計画目標（2）「公共交通利用促進による観光渋滞の緩和」は、未達成

(2) 公共交通利用促進による観光渋滞の緩和：

奈良中心市街地における旅行速度の向上

奈良中心市街地における渋滞を緩和させ、快適な観光を実現させるため、公共交通へのモーダルシフトを推進し、奈良中心市街地における旅行速度を令和7年までに20km/h以上にすることを目標としました。

奈良中心市街地の主要道路である「大宮通り」における平均旅行速度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年以降は春期・秋期の東行・西行どちらの方向も令和元年より上昇し、令和7年春は目標値をクリアしましたが、令和7年秋期の西行は19.7km/hで、目標は未達成です。

奈良中心市街地における旅行速度

＜令和7年：未達成＞

実測値 17.6(km/h) (令和4年) → 目標値 20(km/h) 以上 実測値 19.7(km/h) (令和7年 秋期 西行)

※7時～19時の12時間の平均旅行速度(km/h)

※奈良公園や平城宮跡などの観光施設へのアクセス道として利用される主要道路である「大宮通り（国道24号東側）」を対象とする

※春期：4月・5月（休日）、秋期：10月・11月（休日）の東行・西行を対象とする

※実測値は、各年の最低値

※目標値は、公益財団法人 道路交通情報センター（JARTIC）の渋滞情報

「一般道路 20km/h 未満は混雑」を参照して設定

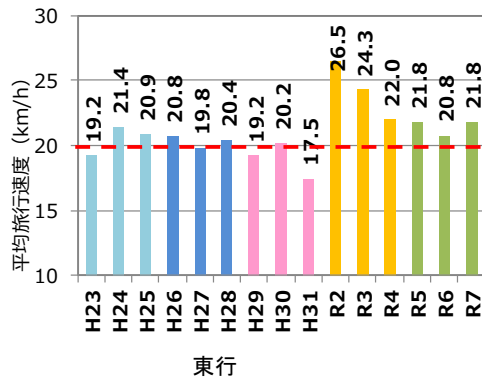
※東行・西行のどちらの速度も20km/h以上を目標とする



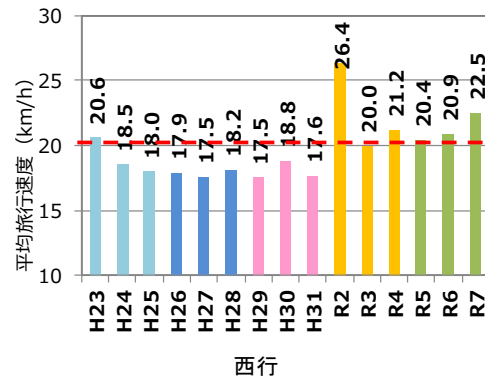
出典：地理院地図を基に加工（ベース図）

図 2-2 計画目標における平均旅行速度の対象区間

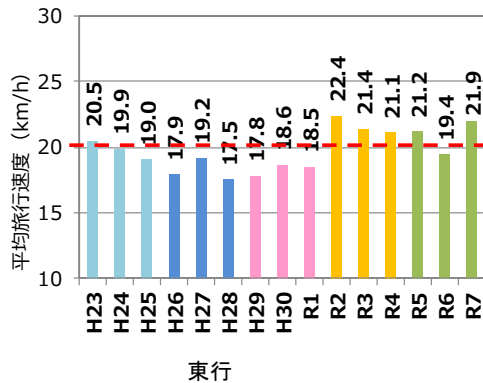
春期の平均旅行速度



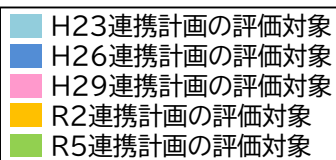
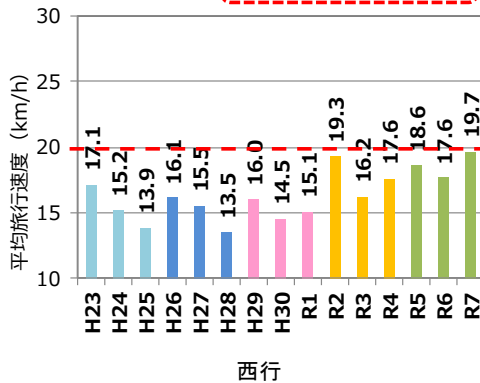
目標値20km/h以上



秋期の平均旅行速度



目標値20km/h以上



出典：H23～R1：各年4月・5月（休日）、10月・11月（休日）の民間プローブデータ
（ホンダイインターナビ統計データ）

R2～R7：各年4月・5月（休日）、10月・11月（休日）のETC2.0データ

図 2-3 大宮通りにおける休日の平均旅行速度

2.2.3 計画目標（3）の達成状況

○ 計画目標（3）「マイカー通勤から他の通勤手段への転換」は、未達成

(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換： マイカー通勤者 40%未満の事業所割合の増加

奈良市内の事業所において、公共交通を中心とした他の交通手段の利用促進を図ることによって、マイカー通勤者 40%未満の事業所割合を 90%以上にすることを目標としました。

マイカー通勤者 40%未満の事業所割合は、令和 2 年に 80%を超えて 82%、令和 6 年まで増加傾向だったものの令和 7 年には減少して 82%と、目標は未達成です。

マイカー通勤者 40%未満の事業所割合

＜令和 7 年：未達成＞

実測値 85%
(令和 4 年)



目標値 90%以上
(令和 7 年)

実測値 82%
(令和 7 年)

※「奈良市内事業所のマイカー通勤の実態に関するアンケート調査」におけるマイカー通勤者の割合が 40%未満の事業所の割合

※目標値は、「奈良市第 5 次総合計画」の目標値（令和 8 年に 91%）を基に設定

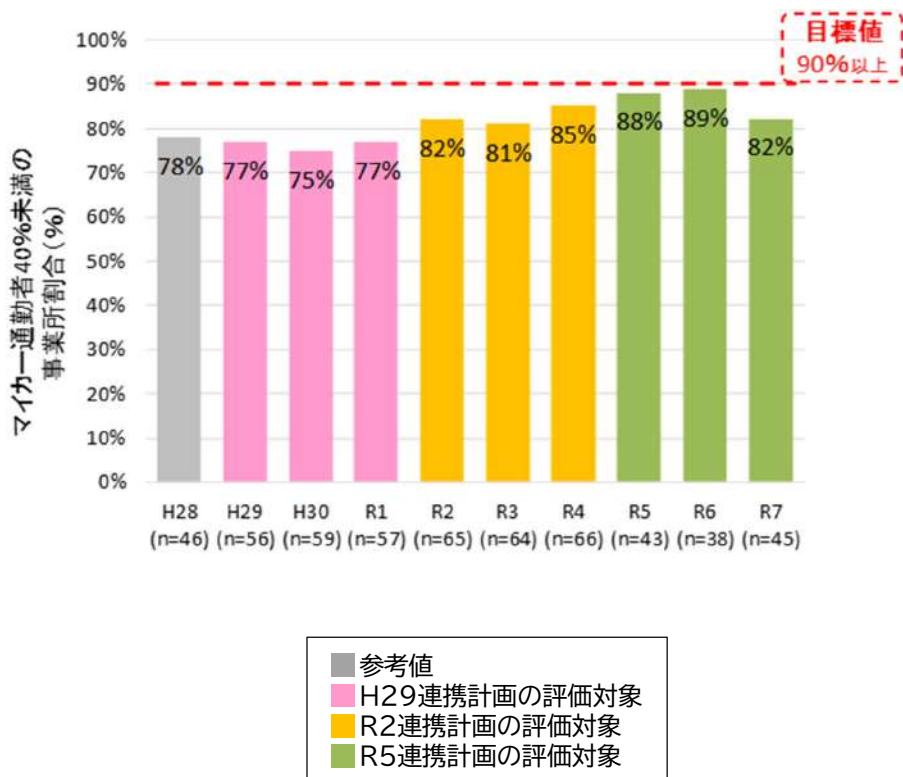


図 2-4 マイカー通勤者 40%未満の事業所割合

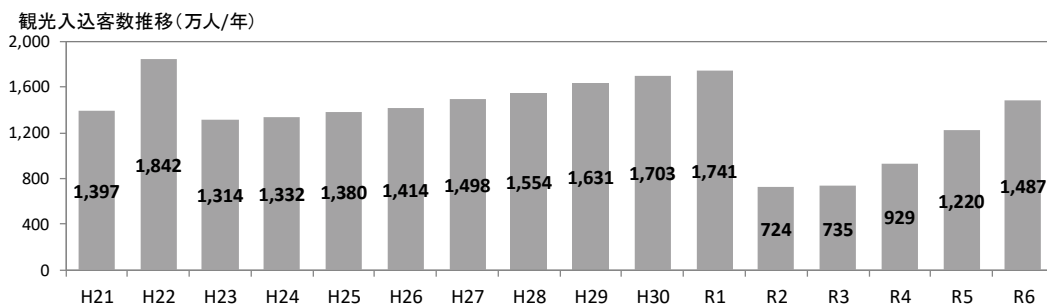
3. R5 連携計画策定後の交通状況等の変化

3.1 観光客数等の変化

3.1.1 観光客の推移

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和 2 年には観光客数が大幅に減少したが、その後回復傾向を示している
- 令和 6 年時点では、令和元年の水準には達していない

奈良市への観光入込客数は、平成 22 年に「平城遷都 1300 年祭」があり 1,842 万人となりましたが、翌年の平成 23 年には東日本大震災があり、1,314 万人に減少しました。それ以降は順調に回復傾向にありましたが、令和 2 年には新型コロナウイルス感染症の拡大により大幅に減少しました。令和 4 年以降順調に回復していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大前の令和元年の水準まで達していません。



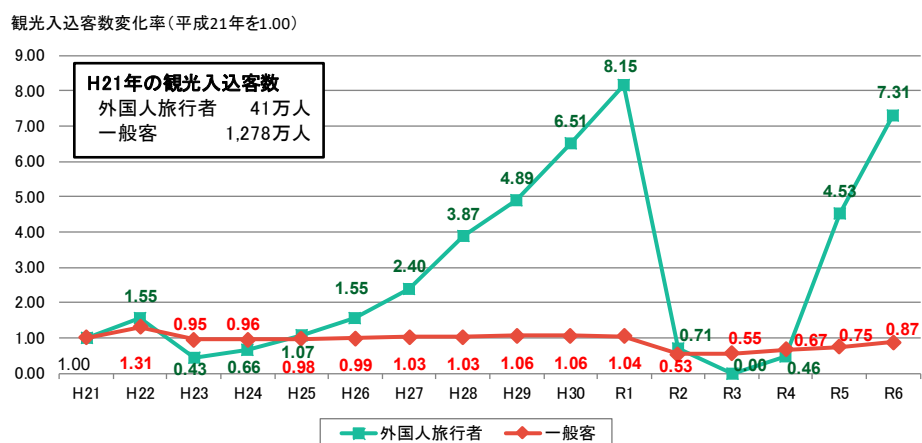
出典：奈良市観光入込客数調査報告

図 3-1 奈良市の観光入込客数の推移

3.1.2 外国人観光客の推移

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和 2 年には外国人観光客数が大幅に減少したが、令和 5 年以降回復している
- 令和 6 年時点では、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年の水準には達していない

平成 23 年以降、外国人観光客は一般観光客と比較して増加率が大きく、令和元年には平成 21 年比で約 8 倍に増加しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和 2 年に水際対策が強化され外国人観光客数も大幅に減少しました。令和 5 年以降急激に回復していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大前の令和元年の水準まで達していません。



※R3の外国人観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大による入国制限の影響で推計に必要な調査が行われなかったため、測定不可としている。

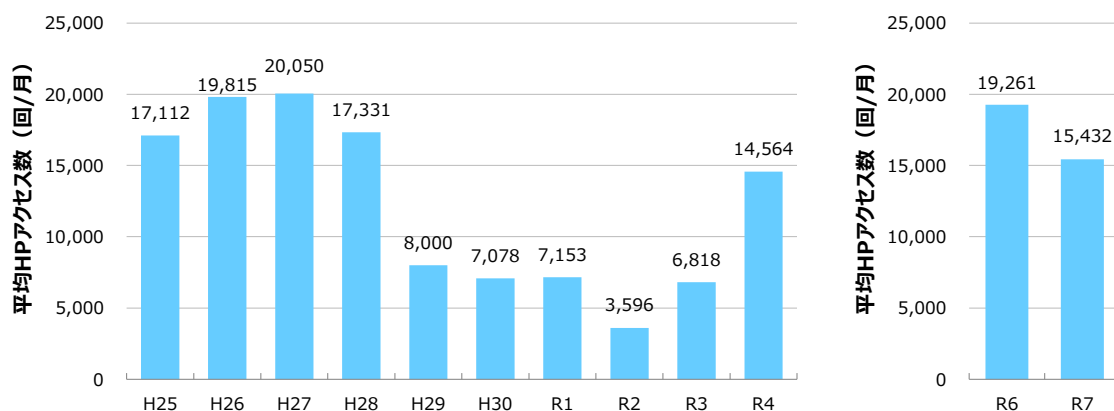
出典：奈良市観光入込客数調査報告

図 3-2 奈良市の観光客属性別の観光入込客数の推移

3.1.3 観光情報の取得状況

- ホームページのアクセス数は、新型コロナウイルス感染症拡大による観光客の減少もあり、令和 2 年には減少したが、その後増加傾向
- ぐるっとバスの見直しに伴い、「ぐるっとバス NAVI（バスロケーションシステム）」を令和 6 年度末に終了

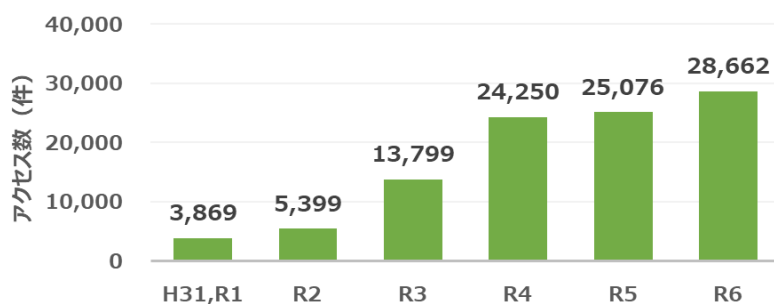
奈良中心市街地の観光交通情報を発信しているホームページ「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」のアクセス数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で観光客が減少したことに伴い、令和 2 年にはアクセス数も減少したものの、令和 3 年以降増加傾向となっています。



※各年 1 月～12 月の平均値

※R5 年 7 月 1 日より Google Analytics から GA4(Google Analytics 4)に移行したため集計方法が異なる。
そのため R5 はグラフから除外した。

図 3-3 ホームページのアクセス数



※ぐるっとバス NAVI への遷移数を集計

※各年 1 月～12 月 (H31、R1 は 4 月～12 月) の合計値

図 3-4 ぐるっとバス NAVI（バスロケーションシステム）のアクセス数

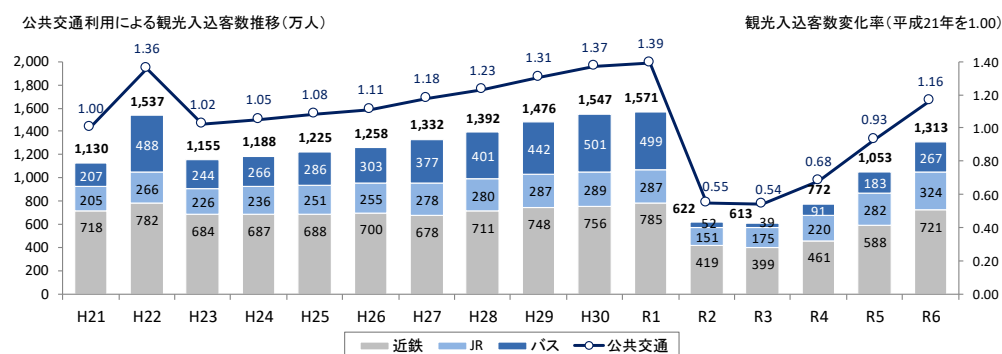
3.2 公共交通利用等の変化

3.2.1 公共交通利用による観光客の推移

- 公共交通利用による観光客数も総観光客数と同様に、新型コロナウイルス感染症の拡大により令和 2 年に大幅に減少だが、令和 6 年も新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復していない
- 新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、令和 2 年から公共交通利用割合が減少していたが、令和 4 年以降増加傾向となっている

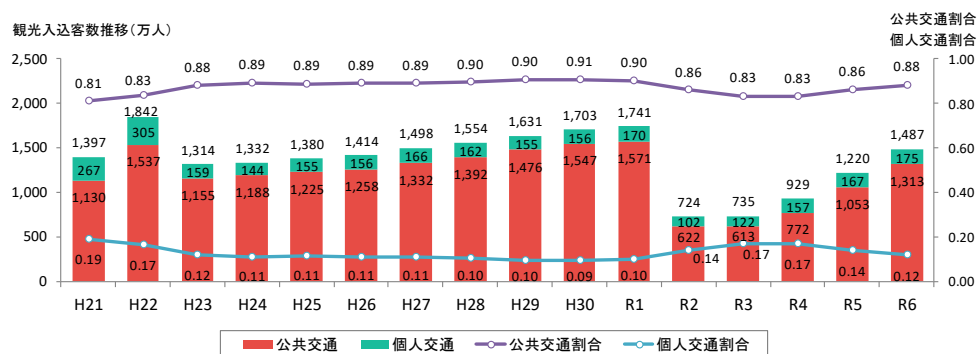
公共交通利用による観光入込客数は、令和元年は平成 21 年比で約 1.39 倍に増加していました。しかし、令和 2 年以降は新型コロナウイルス感染症拡大により観光入込客数が減少したことに伴い公共交通利用による観光入込客数も減少し、令和 4 年以降回復傾向になっているものの、令和 6 年時点では新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年の水準には至っていません。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による影響もあり、公共交通割合が令和 2 年以降減少しましたが、令和 4 年以降増加傾向になっています。



出典：奈良市観光入込客数調査報告

図 3-5 奈良市の公共交通機関別の観光入込客数の推移



出典：奈良市観光入込客数調査報告

図 3-6 奈良市の公共交通・個人交通別の観光入込客数の推移

3.2.2 ぐるっとバスの利用状況

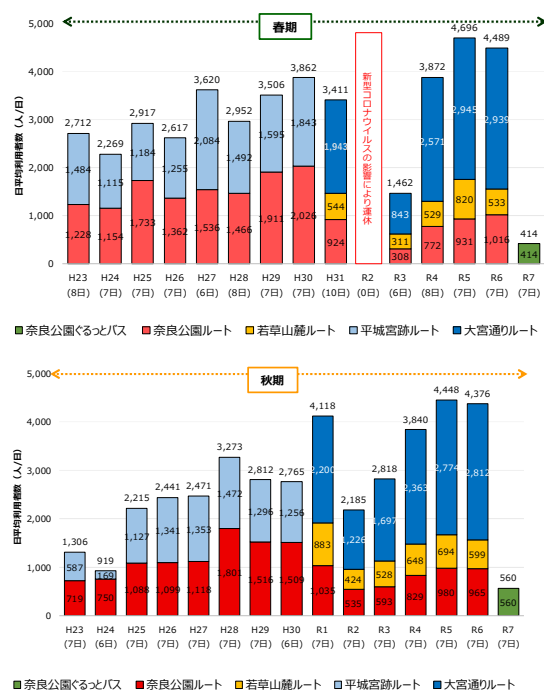
- 令和 6 年度に実施したぐるっとバスのあり方検討により、運行形態及び運賃等を改定
- 一定の満足度を維持しているが、交通渋滞によるバスの遅延等について不満

ぐるっとバスの利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和 2 年度に大幅に減少したものの、その後は回復傾向となりました。令和 3 年度には大和西大寺駅南口にバス停が新設され、大宮通りルートが延伸されたことにより、同ルートの利用者数が増加しました。

令和 5 年度には、全ルートを通じて日平均利用者数が過去最高を記録し、令和 6 年度も引き続き高い水準を記録しました。

しかし、全国的なバス乗務員不足や既存の公共交通機関との運賃等の住み分けを精査した結果、3 ルートあったぐるっとバスを「奈良公園ぐるっとバス」として 1 ルートに整理し、運賃を路線バスと統一したことから、令和 7 年度の利用者数は大幅に減少しました。

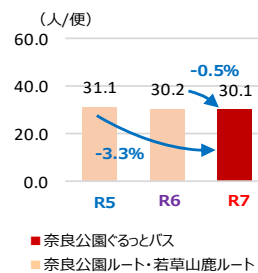
ぐるっとバスの認知度は、約 40%にとどまっており、多くの観光客に十分認知されていない状況です。また、満足度については、不満と回答した割合は約 10%と大きな変化はなく、全体として一定の水準が維持されています。一方で、運行形態等の見直しの影響により、運賃に対する評価は以前ほど高くはありません。また、車内の混雑や交通渋滞によるバスの遅延については依然として不満を感じられています。



1 便当たりの利用者数
(GW 期間の雨天を除く土日祝)

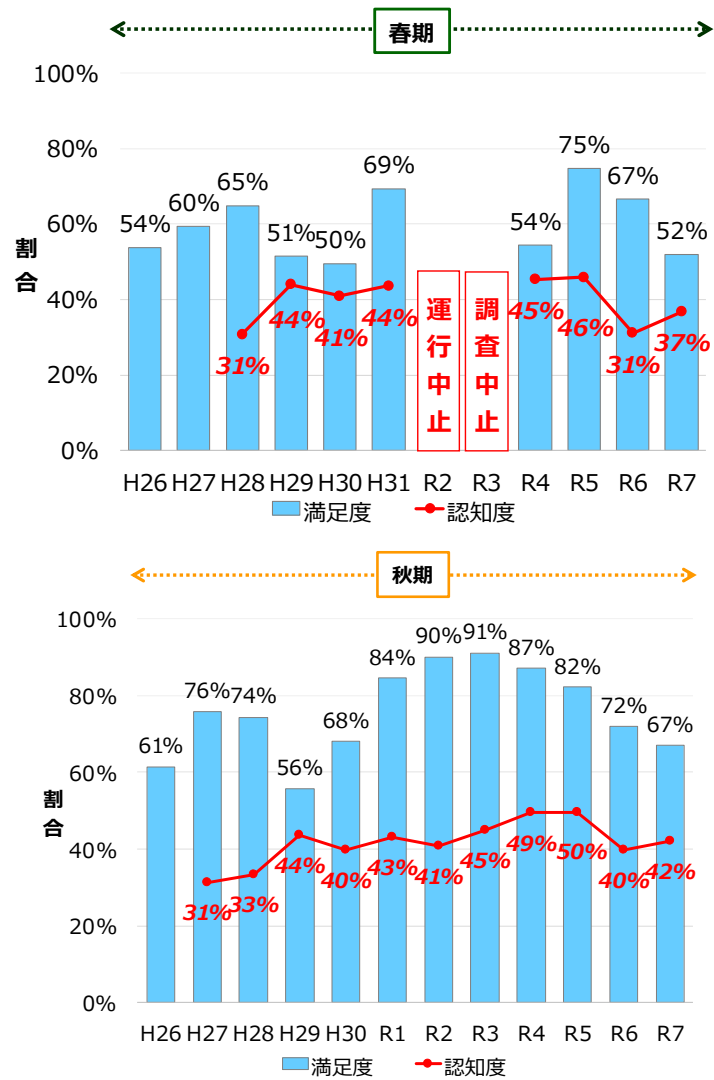


1 便当たりの利用者数
(正倉院展期間の雨天を除く土日祝)



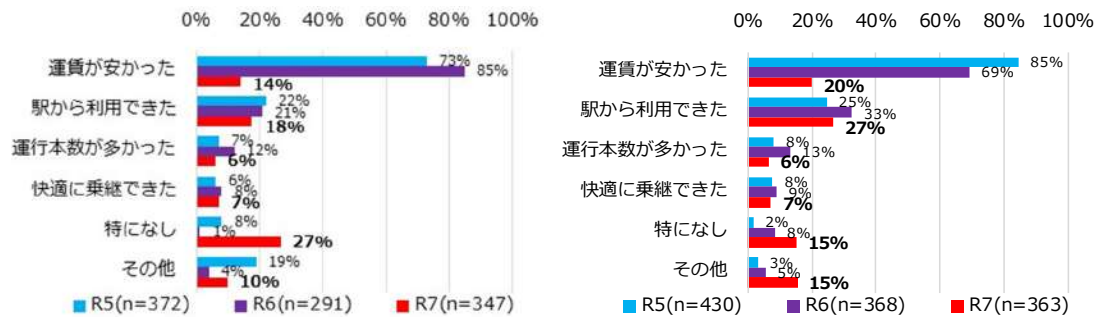
※上記の利用者数は、春期はGW、秋期は正倉院展期間を対象に集計（1日あたりの平均利用者数）
 ※H25、H26 はならまちルートの利用者数を平城宮跡ルートに含む
 ※H31 春期より奈良公園ルート、若草山麓ルート、大宮通りルートの 3 ルートに変更
 ※R2 は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4/18～10/23 の運行中止
 ※R3 春期より大和西大寺駅南口のバス停を新設し、大宮通りルートを延伸
 ※R7 春期より、大宮通ルートは廃止し、奈良公園ルート・若草山麓ルートを統合し、奈良公園ぐるっとバスに再編

図 3-7 ぐるっとバスの利用者数



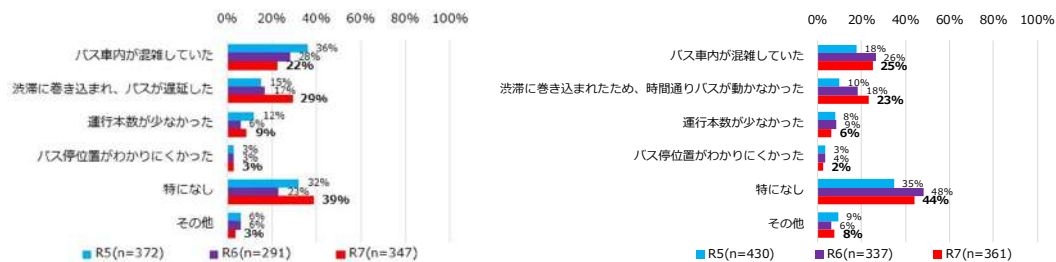
※満足度は「満足・やや満足」と回答した割合の合計値
 出典：ぐるっとバスヒアリング調査、来訪者アンケート調査

図 3-8 ぐるっとバスの認知度・満足度



出典：ぐるっとバスヒアリング調査

図 3-9 ぐるっとバスの良かった点（左：春期、右：秋期）

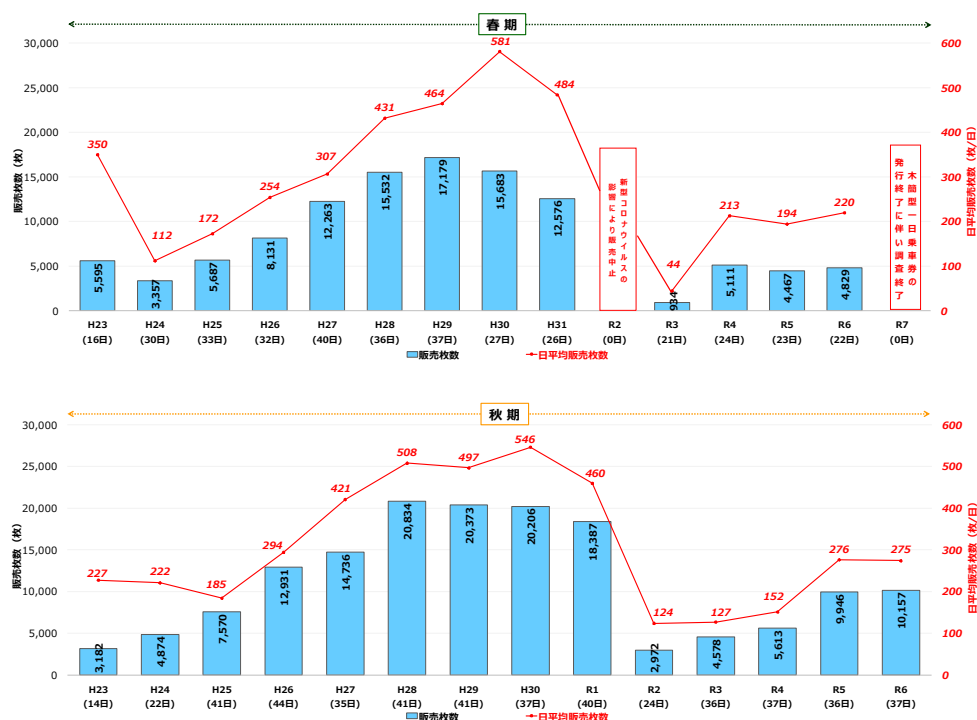


出典：ぐるっとバスヒアリング調査

図 3-10 ぐるっとバスの悪かった点（左：春期、右：秋期）

3.2.3 木簡型一日乗車券の販売状況

○ 木簡型一日乗車券の発行終了（令和 5 年度末）に伴い、販売枚数のモニタリングを終了



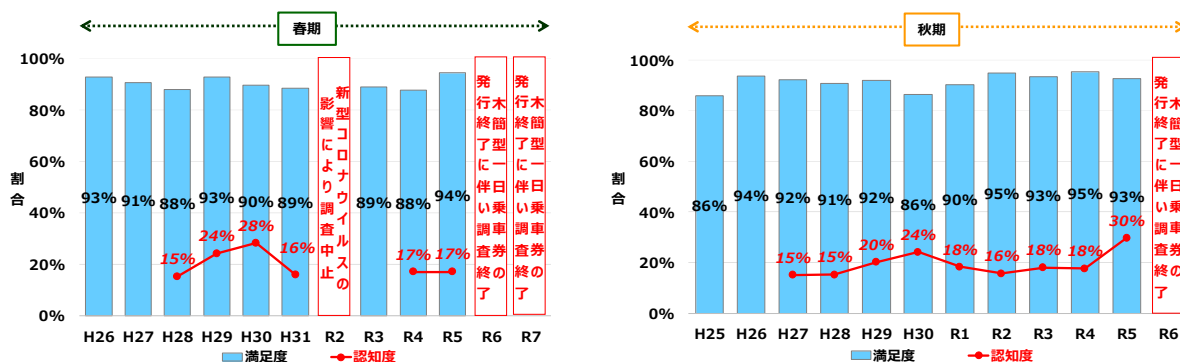
※各年の数値は、木簡型一日乗車券販売期間の大人と小児の販売枚数の合計値

※奈良県コンベンションセンターの販売枚数は、近鉄奈良駅、JR 奈良駅での販売日を対象

※R2 は新型コロナウイルス感染症の影響により、春期は 4/18 から販売中止、秋期は 10/24 から販売開始

※R3 春期は新型コロナウイルス感染症の影響により、奈良市役所駐車場と国道 24 号高架下駐車場での販売を途中で中止

図 3-11 木簡型一日乗車券の販売枚数



※満足度は「満足・やや満足」と回答した割合の合計値

出典：木簡型一日乗車券アンケート調査

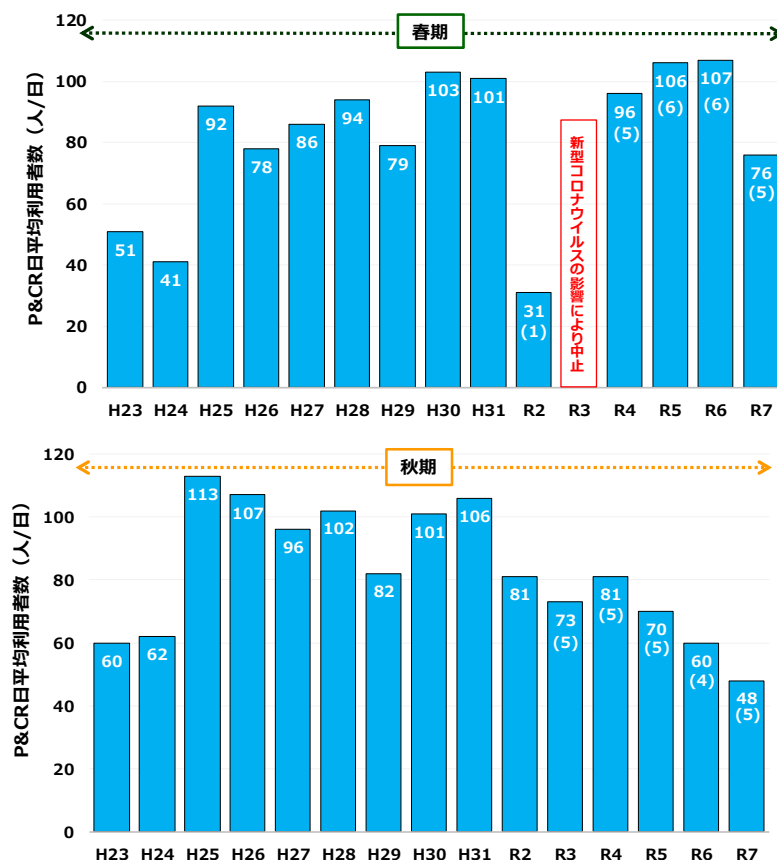
出典：来訪者アンケート調査

図 3-12 木簡型一日乗車券の認知度・満足度

3.2.4 パーク&サイクルライドの利用状況

○ パーク&サイクルライドの月平均利用者数は、春期は令和5年から増加傾向であったが、令和7年は令和6年より減少、秋期は令和5年から減少傾向

パーク&サイクルライド(P&R 駐車場でのレンタサイクル)利用者数は、春期は令和5年、6年と増加傾向となっていました、令和7年は令和6年より減少し、秋期は令和5年、6年、7年と減少傾向となっています。



※R2 春期は新型コロナウイルス感染症の影響により 4/12 以降中止

※R3 春期は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

※R3 秋期、R4 春期・秋期は国道 24 号高架下駐車場で実施

※R2 春期以降はシェアサイクルも実施

※雨天により中止した日を除く日平均

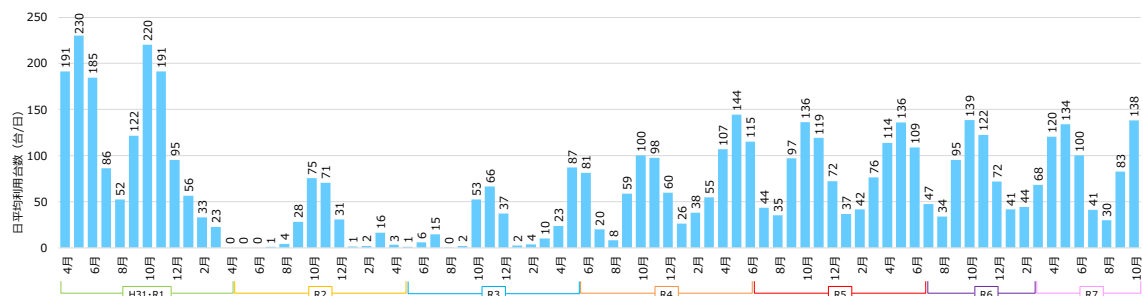
※()内は、シェアサイクルの利用者数

図 3-13 パーク&サイクルライドの利用者数

3.2.5 観光バスターミナルの利用状況

○ 奈良公園バスターミナルの利用台数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度、3年度と大幅に減少したが、令和4年度以降は増加し、一定の水準を維持

奈良公園バスターミナルの利用台数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度及び3年度には大幅に減少しましたが、令和4年度以降は回復傾向にあり、奈良公園内への観光バスの流入抑制を一定水準で維持しています。



※H31.4.13 運営開始

※R2は新型コロナウイルス感染症の影響により、4/25～5/15の受入中止

※R3は新型コロナウイルス感染症の影響により、5/1～6/20、8/5～9/30は新規予約の受入中止

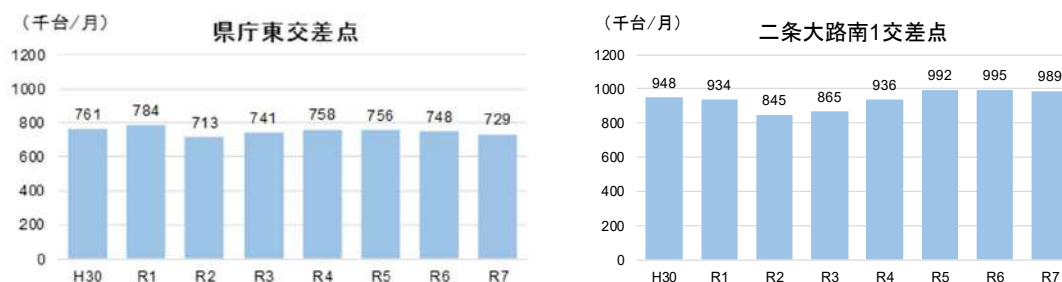
図 3-14 奈良公園バスターミナルの利用台数

3.3 自動車交通の変化

3.3.1 奈良中心市街地の自動車交通量の変化

○ 奈良中心市街地の通年の自動車交通量は、新型コロナウイルス感染症の拡大により令和 2 年には減少したがその後増加傾向

奈良中心市街地の主要交差点である二条大路南 1 交差点と県庁東交差点の自動車交通量は、新型コロナウイルス感染症の拡大により令和 2 年に減少していますが、令和 3 年以降は増加傾向にあります。



※各年 1 月～12 月（R4 は 1 月～11 月）の各交差点流入交通量の月平均値

出典：トラフィックカウンターデータ

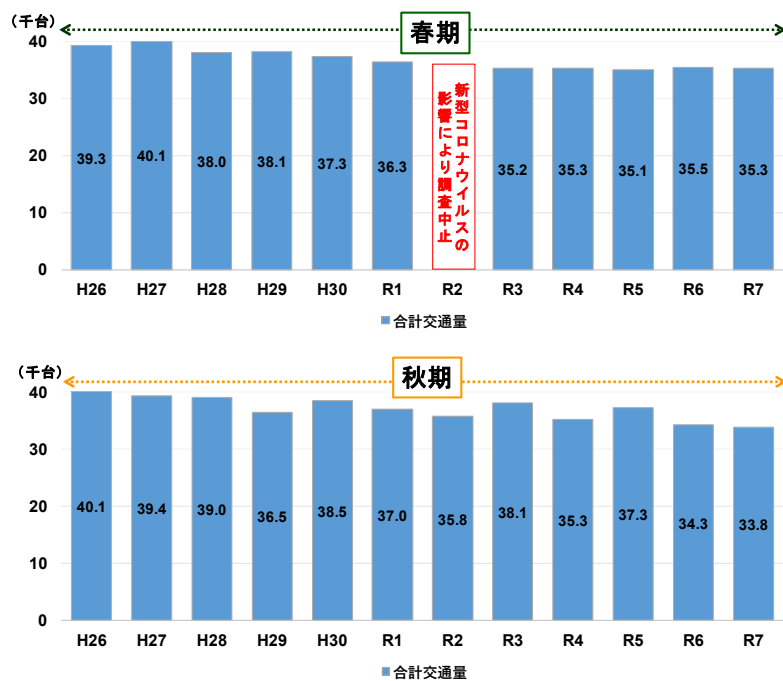
図 3-15 主要交差点の交通量（7 時～19 時の 12h）

3.3.2 観光シーズン（休日）の交通量の変化

○ 奈良中心市街地における観光シーズンの休日の交通量は、春期は二条大路南 1 交差点では令和 3 年以降ほぼ一定、県庁東交差点では令和 3 年以降減少傾向
○ 秋期はいずれの交差点も令和 5 年以降、減少傾向

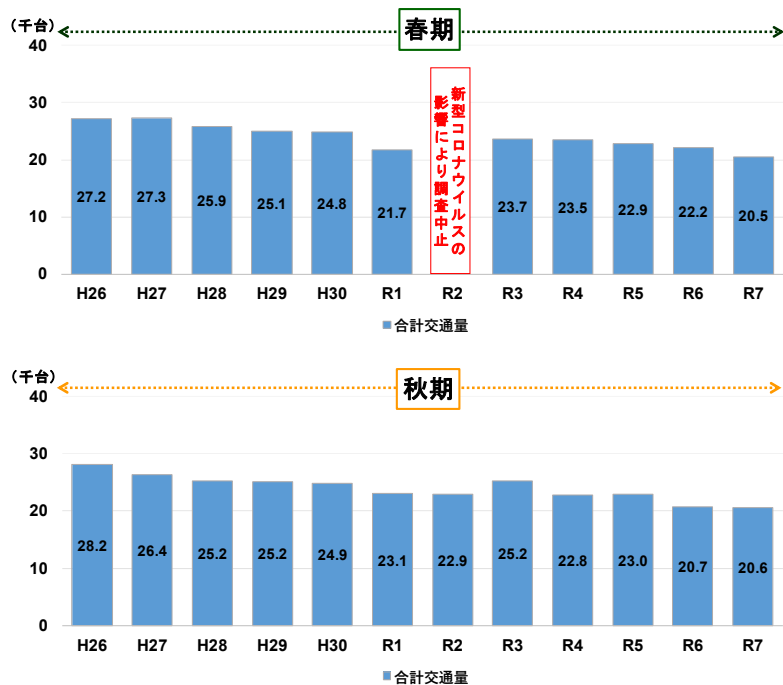
奈良中心市街地の主要交差点である二条大路南 1 交差点と県庁東交差点の観光シーズンの休日の合計交通量について、春期は二条大路南 1 交差点では令和 3 年以降ほぼ一定、県庁東交差点では令和 7 年で過去最少となっています。

秋期は二条大路南 1 交差点、県庁東交差点ともに、令和 5 年以降減少していますが、春期と秋期のどちらも平成 26 年以降、年次による多少の増減はあるものの、徐々に減少傾向となっています。



※春期：GWの1日、秋期：正倉院展期間の1日

図 3-16 二条大路南1交差点の合計交通量（8時～19時の11h）



※春期：GWの1日、秋期：正倉院展期間の1日

図 3-17 県庁東交差点の合計交通量（8時～19時の11h）

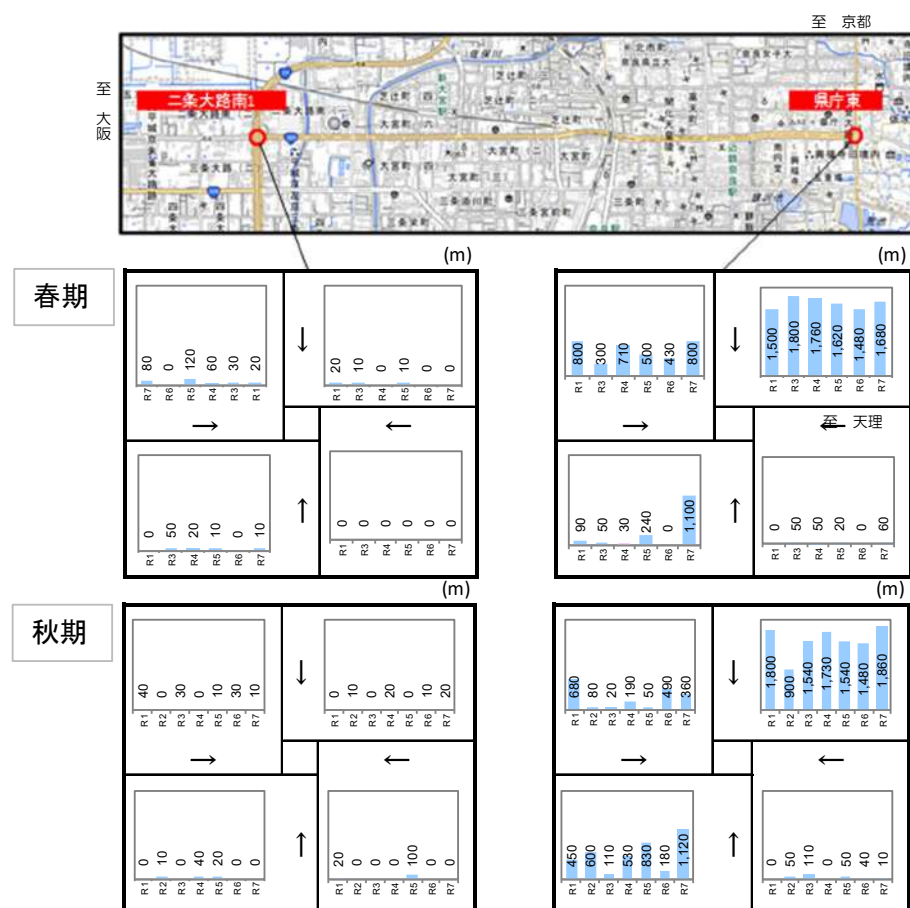
3.3.3 奈良公園方面への渋滞発生状況（昼間）

- 県庁東交差点において、春期は大阪方面から奈良公園方面への東行き渋滞、春期（R7）・秋期は天理方面からの北行き渋滞、春期・秋期ともに京都方面からの南行き渋滞が発生
- 奈良公園内道路は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年、令和3年には混雑が緩和したが、観光客の回復に伴い令和4年以降はコロナ禍前の状況に戻りつつある

昼間の県庁東交差点の渋滞について、春期は、大阪方面から奈良公園方面への東行きや京都方面からの南行きで渋滞が発生しており、令和7年春期には天理方面からの北行で渋滞が発生しています。秋期は、大阪方面から奈良公園方面への東行きは改善していますが、京都方面からの南行き、天理方面からの北行きで渋滞が発生しています。

大宮通りの東行きは、春・秋期ともに県庁東交差点を起点に慢性的な速度低下が生じています。

また、奈良公園内道路では、観光客の回復に伴い令和4年にはコロナ禍前の状況に戻りつつあり、バス停でのバスの停車や歩行者横断、沿道駐車場の入庫・出庫等による車両滞留が、春期には駐車場の入庫待ち車両による車両滞留が生じています。



※春期:GWの1日、秋期:正倉院展期間の1日

※R2春期は調査未実施

図 3-18 主要交差点の渋滞状況（各年8時～15時最大）



図 3-19 春期の大宮通り東行きの時間帯別旅行速度

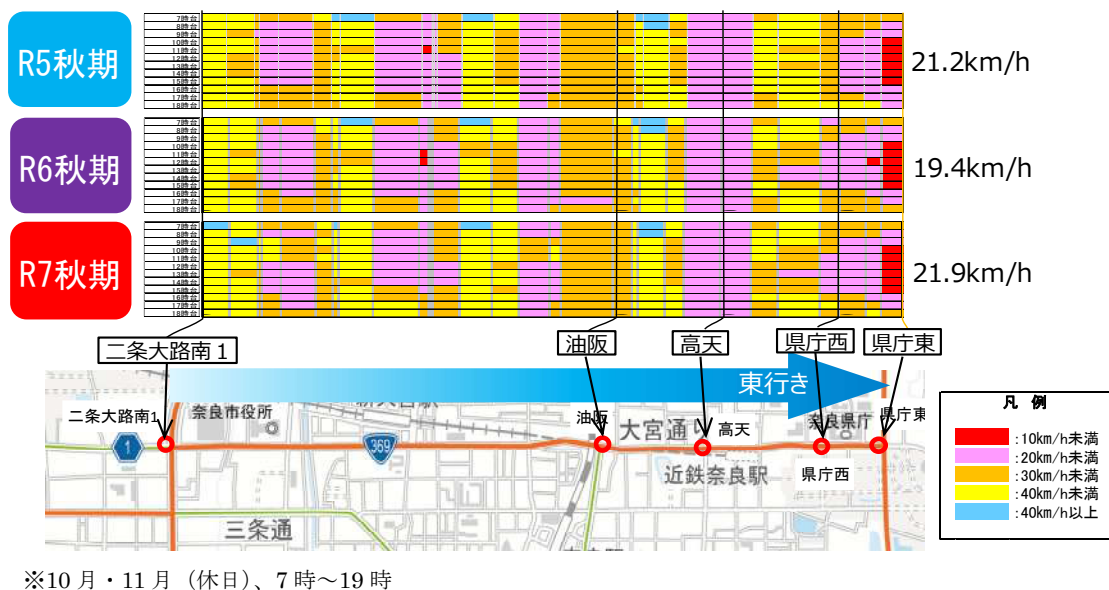


図 3-20 秋期の大宮通り東行きの時間帯別旅行速度

3.3.4 大阪方面への渋滞発生状況（夕方）

○ 二条大路南 1 交差点において、春期・秋期ともに奈良公園方面から大阪方面への西行き渋滞が発生しており、春期に比べて秋期の方が渋滞が発生している傾向

夕方の二条大路南 1 交差点の渋滞について、春期と秋期どちらも二条大路南 1 交差点において奈良公園方面から大阪方面への西行き渋滞が発生していますが、春期は改善傾向となっています。一方、秋期は悪化傾向であり、令和 5 年以降は秋期の方が渋滞が発生しています。

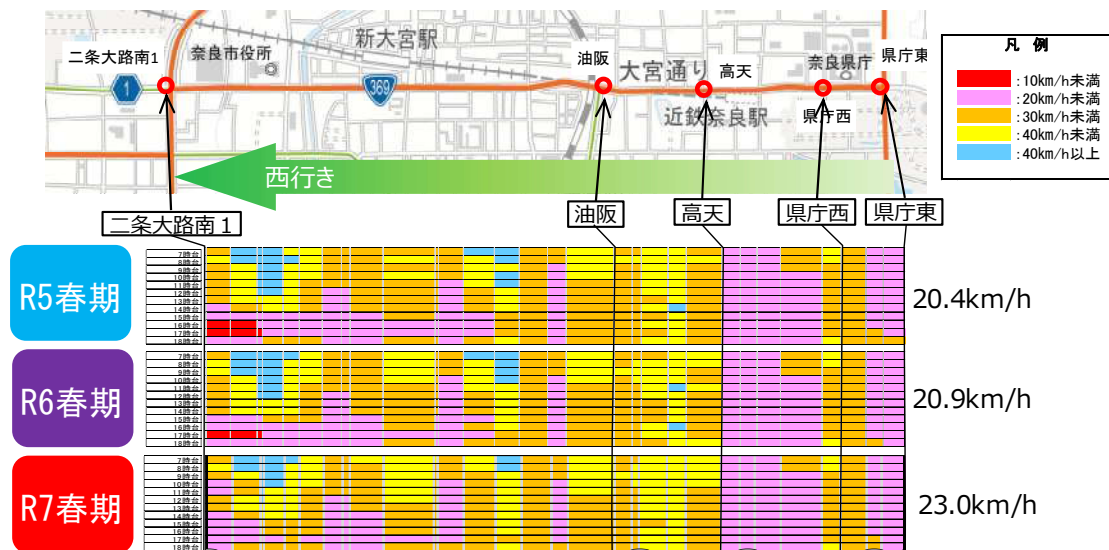
大宮通りの西行きは、春期と秋期のどちらも夕方に二条大路南 1 交差点を起点に慢性的な速度低下が生じています。



※春期:GWの1日、秋期:正倉院展期間の1日

※R2春期は調査未実施

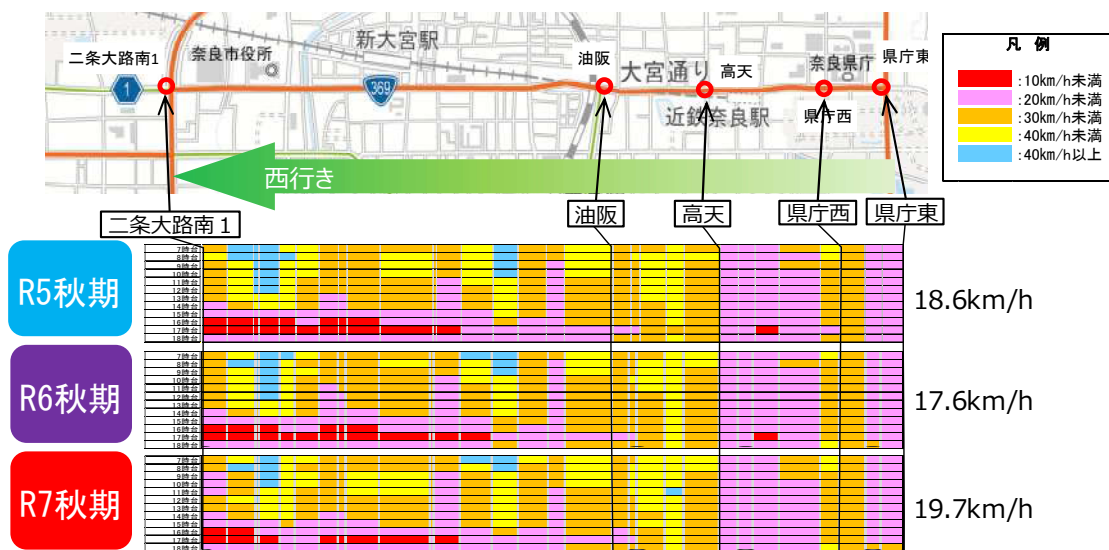
図 3-27 主要交差点の渋滞状況（各年 15 時～19 時最大）



※4月・5月（休日）、7時～19時

出典：ETC2.0 データ

図 3-28 春期の大宮通り西行きの時間帯別旅行速度



※10月・11月（休日）、7時～19時

出典：ETC2.0 データ

図 3-29 秋期の大宮通り西行きの時間帯別旅行速度

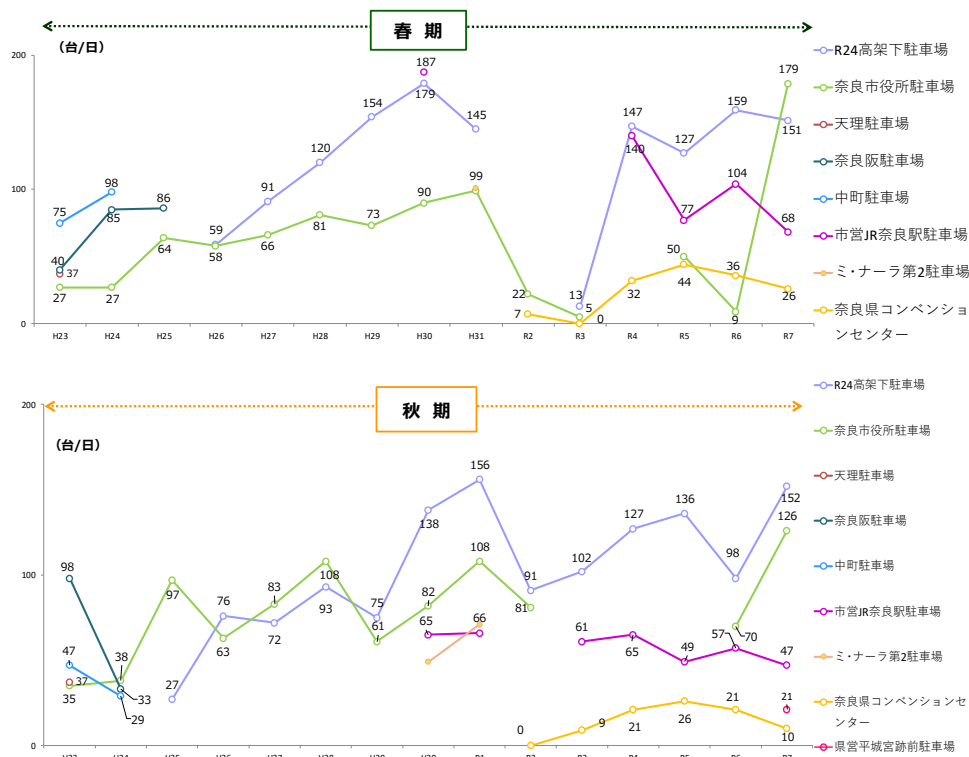
3.3.5 P&R 駐車場の利用状況

- P&R 駐車場の利用台数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和 2 年には複数の駐車場で開設中止したこともあり大幅に減少。令和 4 年以降回復しており、時間帯によっては満車となるほどの利用状況となり、令和 7 年秋期より平城宮跡駐車場を増設
- P&R 駐車場の認知度は 30%～40%程度で推移しているが、次回利用意向は 97～99%と非常に高い水準

P&R 駐車場の利用台数は、令和 2 年は新型コロナウイルス感染症拡大による観光客数の減少や P&R 駐車場開設の中止もあり大幅に減少しましたが、令和 4 年は令和 3 年より増加しています。奈良市役所駐車場は令和 3 年秋期、令和 4 年春期・秋期、令和 5 年秋は閉鎖していましたが、令和 7 年春期では最も利用されている駐車場になっています。

P&R 駐車場の認知度は 30%～40%程度で推移しています。また、次回の利用意向は 97～99%と非常に高い水準です。

P&R 駐車場を知った媒体として、出発前は「ホームページ」、道中は「道路上の看板」の回答割合が高くなっています。また、P&R 駐車場を知っていたが利用しなかった理由として、「観光駐車場の存在を知らなかった」「観光駐車場等の方が目的地まで時間がかかるといった」の回答割合が高くなっています。



※利用台数は、1 駐車場あたりの日平均利用台数

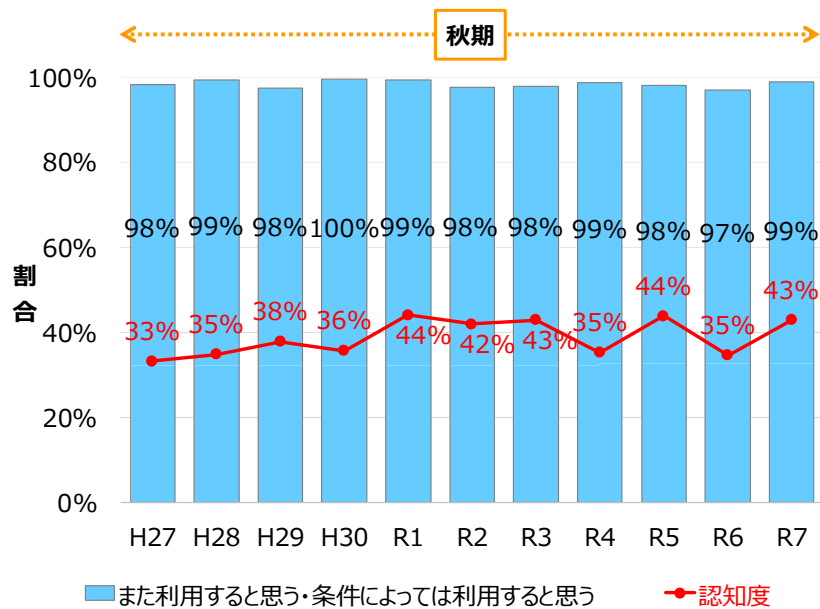
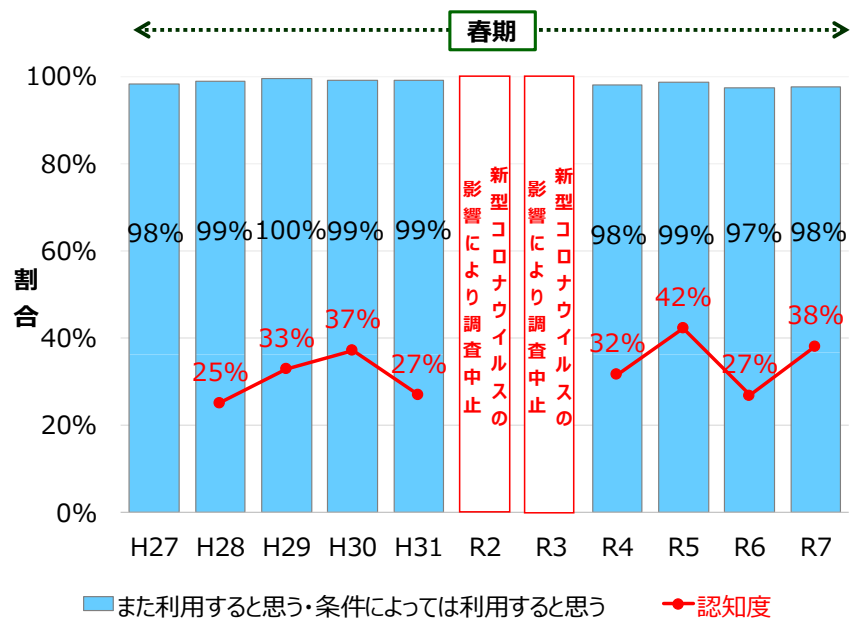
※奈良市営 JR 奈良駅駐車場は、P&R キャンペーン実施時のみ対象

※奈良県コンベンションセンター駐車場は、国道 24 号高架下駐車場又は奈良市役所駐車場の開設日を対象

※R2 春期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、奈良市役所駐車場（4 日間）のみ開設

※R3 春期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国道 24 号高架下駐車場（3 日間）、奈良市役所駐車場（2 日間）のみ開設

図 3-30 P&R 駐車場の利用台数



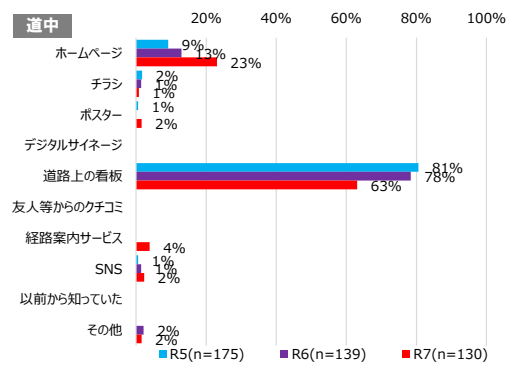
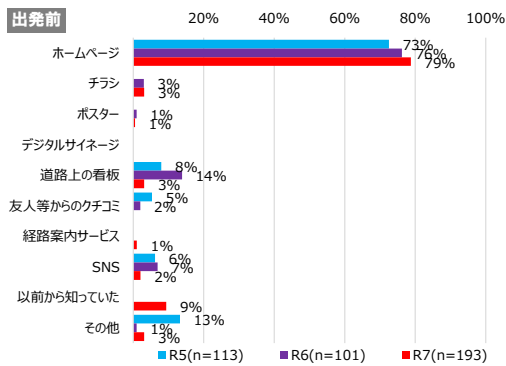
※次回利用意向は、「また利用する・条件によっては利用する」と回答した割合の合計値

出典：P&R 駐車場ヒアリング調査

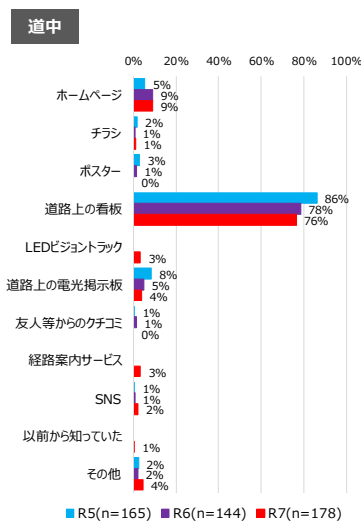
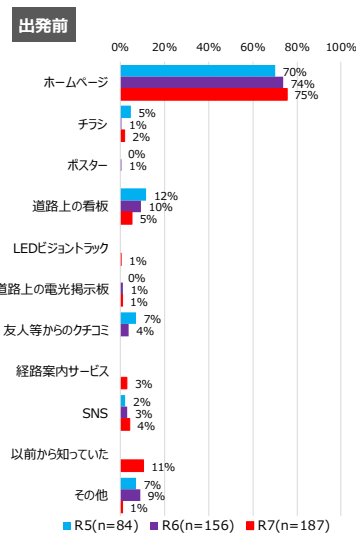
出典：来訪者アンケート調査

図 3-31 P&R 駐車場の認知度・次回利用意向

【春期】



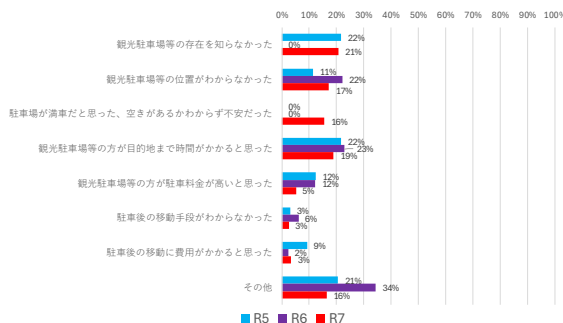
【秋期】



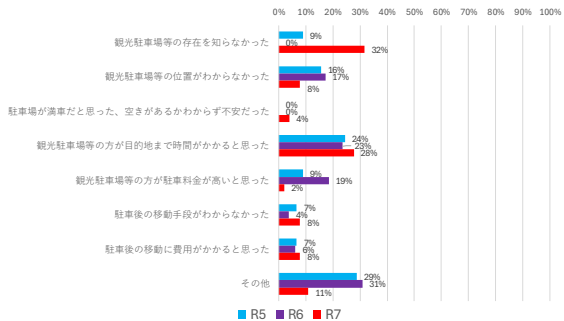
出典：P&R 駐車場ヒアリング調査

図 3-32 P&R 駐車場を知った媒体

【春期】



【秋期】



出典：来訪者アンケート調査

図 3-33 P&R 駐車場を知っていたが利用しなかった理由

3.4 マイカー通勤の状況

○ 通勤者数 30 人未満の事業所では、マイカー通勤者数 40%未満の事業所割合は約 80%程度であった。

通勤者数の規模別にマイカー通勤者数 40%未満の事業所割合をみると、通勤者数 30 人未満の事業所では約 80%程度、通勤者数 30 人以上の事業所では、増加傾向にあり、R5 に初めて 100%を達成しています。

表 3-1 通勤者数規模別のマイカー通勤者 40%未満の事業所割合

通勤者数	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1～9人	6 7	4 5	5 7	8 10	10 12	11 13	9 13	3 4	3 5	3 7
	86%	80%↓	71%↓	80%↑	83%↑	85%↑	69%↓	75%↑	60%↓	43%↓
10～29人	18 23	16 21	21 30	14 22	20 28	20 27	24 28	19 22	14 16	17 20
	78%	76%↓	70%↓	64%↓	71%↑	74%↑	86%↑	86%↑	88%↑	85%↓
30～49人	2 5	7 10	8 9	6 7	10 11	6 8	10 11	7 7	4 4	6 7
	40%	70%↑	89%↑	86%↓	91%↑	75%↓	91%↑	100%↑	100%→	86%↓
50～99人	3 4	9 10	8 10	8 9	9 10	10 11	5 5	5 5	7 9	6 6
	75%	90%↑	80%↓	89%↑	90%↑	91%↑	100%↑	100%→	78%↓	100%↑
100～199人	2 2	3 4	1 2	2 2	1 1	4 4	3 3	0 0	2 2	1 1
	100%	75%↓	50%↓	100%↑	100%→	100%→	100%→	-	100%↑	100%→
200人以上	2 2	3 3	1 1	4 4	3 3	0 0	4 4	1 1	2 2	2 2
	100%	100%→	100%→	100%→	100%→	-	100%↑	100%→	100%→	100%→
不明	0 0	0 0	0 0	2 3	0 0	1 1	1 2	1 4	3 3	1 1

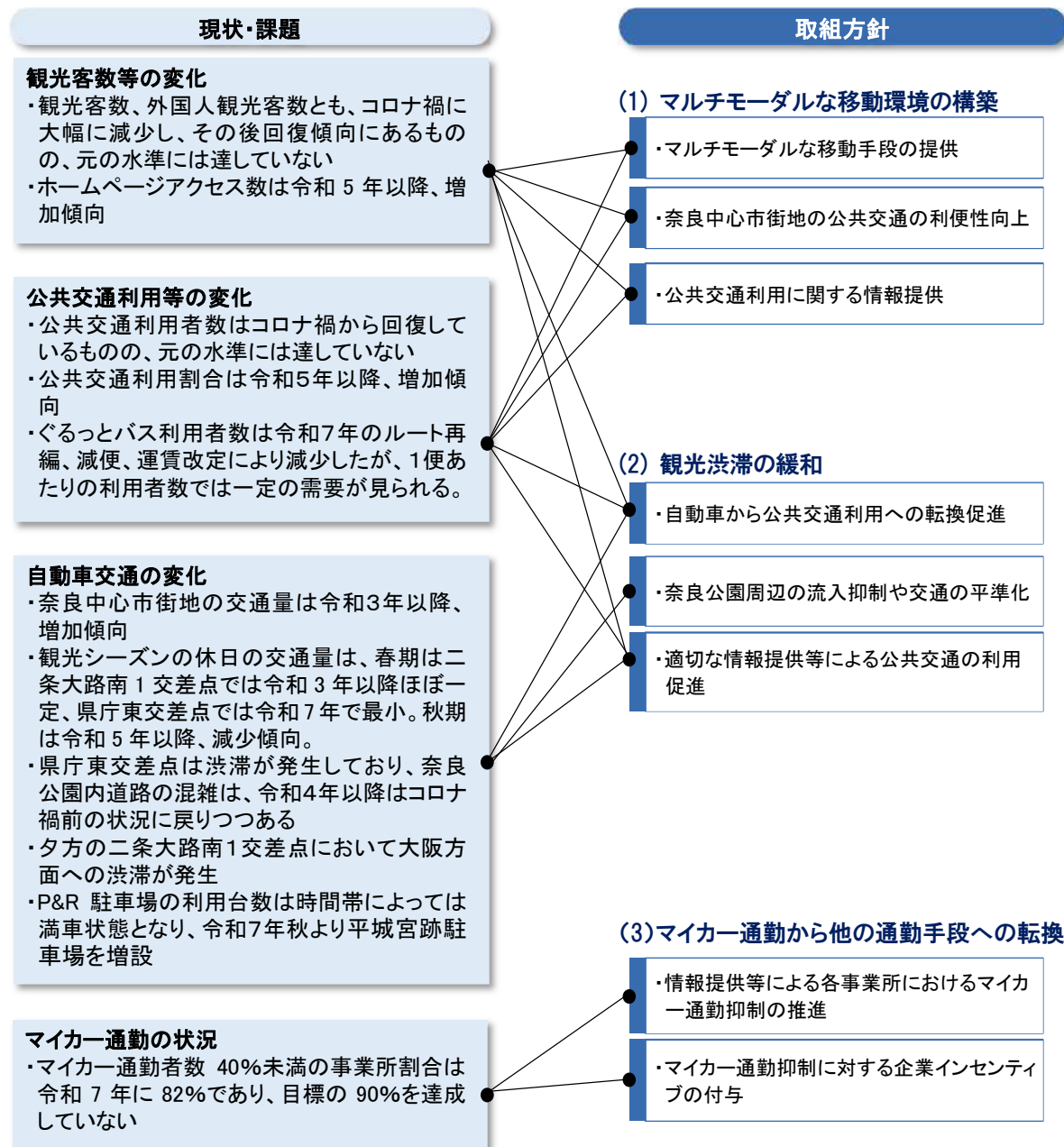
凡例	A	A:マイカー通勤者40%未満の事業所数 B:当該項目の全事業所数
	B	
	↑	前年と比べ増加
	↓	前年と比べ減少

出典：奈良市内事業所のマイカー通勤の実態に関するアンケート調査

4. 交通状況等の変化を踏まえた取組方針

奈良中心市街地における交通状況等の変化を踏まえ、次の(1)～(3)を今後の取組方針とする。

- (1) マルチモーダルな移動環境の構築
- (2) 公共交通利用促進による観光渋滞の緩和
- (3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換



5. 本計画の計画目標

5.1 計画目標と具体目標

基本理念を踏まえて、課題を解決するための目標として、奈良中心市街地において、自動車交通に過度に頼らず、公共交通で快適に移動できる交通システムの構築を目指して、計画目標と具体目標を設定します。

計画目標	具体目標
(1) マルチモーダルな移動環境の構築	公共交通利用による観光入込客数の増加 【参考】公共交通とP&Rの分担率
(2) 観光渋滞の緩和	奈良中心市街地における旅行速度の向上
(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	マイカー通勤者 40%未満の事業所割合の増加

(1) マルチモーダルな移動環境の構築：公共交通利用による観光入込客数の増加

奈良中心市街地における移動環境を向上させ、公共交通での周遊観光を促進させることによって、奈良市の公共交通利用による観光入込客数を増加させることを目標とします。

(2) 観光渋滞の緩和：奈良中心市街地における旅行速度の向上

奈良中心市街地における渋滞を緩和させ、快適な観光を実現するため、公共交通へのモーダルシフト等を促進し、主要道路における旅行速度を向上させることを目標とします。

(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換：

マイカー通勤者 40%未満の事業所割合の増加

奈良市内の事業所において、公共交通を中心とした他の交通手段に対する従業員等の意識を向上させることによって、マイカー通勤者 40%未満の事業所割合を増加させることを目標とします。

5.2 具体目標の目標値

各計画目標の達成状況を把握するため、以下の目標値を設定します。

計画目標	目標値
(1) マルチモーダルな移動環境の構築	公共交通利用による観光入込客数： 1,712（万人/年）以上
(2) 観光渋滞の緩和	奈良中心市街地における旅行速度： 20（km/h）以上
(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	マイカー通勤者 40%未満の事業所割合： 91（%）以上

公共交通利用による観光入込客数

＜令和 9 年＞

現況値 1,313(万人/年) ➡ 目標値 1,712(万人/年)以上

※「奈良市観光入込客数調査報告」における奈良市内への公共交通利用による観光入込客数
※現況値は、令和 6 年の値
※目標値は、「奈良市第 5 次総合計画」の目標値を基に設定すると 1,469 万人となり、
R2 連携計画の目標値を下回るため、R2 連携計画の目標値（1,712 万人）を継続
※観光入込客数は翌年公表のため、目標値は令和 9 年の値とする

奈良中心市街地における旅行速度

＜令和 10 年＞

現況値 19.7(km/h) ➡ 目標値 20(km/h)以上

※7 時～19 時の 12 時間の平均旅行速度(km/h)
※奈良公園や平城宮跡などの観光施設へのアクセス道として利用される主要道路である
「大宮通り（国道 24 号東側）」を対象とする
※春期：4 月・5 月（休日）、秋期：10 月・11 月（休日）の東行・西行を対象とする
※現況値は、令和 7 年の最低値
春期(R7)：東行 21.8(km/h)、西行 22.5(km/h)
秋期(R7)：東行 21.9(km/h)、西行 19.7(km/h)
※目標値は、公益財団法人 道路交通情報センター（JARTIC）の渋滞情報
「一般道路 20km/h 未満は混雑」を参照して設定
※東行・西行のどちらの速度も 20km/h 以上を目標とする

マイカー通勤者 40%未満の事業所割合

＜令和 10 年＞

現況値 82(%) ➡ 目標値 91 (%)以上

※「奈良市内事業所のマイカー通勤の実態に関するアンケート調査」におけるマイカー
通勤者の割合が 40%未満の事業所の割合
※現況値は、令和 7 年の値
※目標値は、「奈良市第 5 次総合計画」の目標値（令和 13 年に 91%）を基に設定

6. 実施施策

6.1 施策体系

計画目標を達成するための実施施策と施策の内容を以下に示します。

なお、施策の実施にあたっては、関係機関と十分に協議しながら進めていきます。

計画目標	実施施策	施策の内容
(1) マルチモーダルな移動環境の構築	1) 観光施設間の移動環境の充実	1 周遊バスの運行 2 自転車利用環境の充実 3 シャトルバスの運行 4 歩行環境の整備
	2) 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築	1 情報案内強化による乗り継ぎ利便性の向上 2 奈良公園バスターミナルの利用環境の充実
(2) 観光渋滞の緩和	3) 自動車の需要調整	1 P&Rの実施 2 分かりやすい駐車場案内の実施 3 帰宅車両の交通集中の緩和 4 奈良中心市街地の混雑情報の発信 5 公営駐車場の料金設定の調整
	4) 公共交通利用促進に資する効果的な広報	1 公共交通利用者への広報 2 観光パンフレットを用いた広報 3 ホームページの充実 4 SNS を利用した広報
(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	5) モビリティ・マネジメントの実施	1 モビリティ・マネジメントの実施

6.2 施策スケジュール

実施施策は、奈良県、奈良市、交通事業者及び奈良中心市街地公共交通活性化協議会が主体となり、計画の対象期間である令和10年度までを目標に実施します。

表 6-1 施策の実施主体と実施期間

計画目標	実施施策	実施主体						実施期間		
		奈良県	奈良市	JR	近鉄	奈良交通	協議会	令和8年度	令和9年度	令和10年度
(1) マルチモーダルな移動環境の構築	1) 観光施設間の移動環境の充実	○	○				○			
	2) 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築	○	○	○	○	○	○			
(2) 観光渋滞の緩和	3) 自動車の需要調整	○	○				○			
	4) 公共交通利用促進に資する効果的な広報	○	○				○			
(3) マイカー通勤から他の通勤手段への転換	5) モビリティ・マネジメントの実施		○				○			

6.3 施策概要

実施施策の概要を示します。各施策では、取組状況及び効果を定期的に把握するため、モニタリング指標を設定します。

6.3.1 施策 1) 観光施設間の移動環境の充実

(1) 施策の概要

項 目	内 容	
期 間	令和８年度～令和１０年度	
概 要	観光周遊バスの運行	・観光周遊バス（奈良公園ぐるっとバス）について、運行形態を見直ししながら、継続的に運行します。
	自転車利用環境の充実	・P&R 駐車場にレンタサイクルやシェアサイクルを配備し、パーク&サイクルライド（P&CR）を実施します。 ・シェアサイクルの広報により利用促進を図ります。
	シャトルバスの運行	・P&R 駐車場と奈良公園を結ぶ交通手段としてシャトルバスを運行します。
	歩行環境の整備	・奈良公園内を周遊する歩行者が安全かつ快適に通行できるよう、歩行環境の改善を図ります。
モニタリング指標	指標①：ぐるっとバスの利用者数	414 人/日（令和 7 年春期） 560 人/日（令和 7 年秋期）
	指標②：ぐるっとバスの認知度と満足度	〈認知度〉 37%（令和 7 年春期） 42%（令和 7 年秋期）
		〈満足度〉 52%（令和 7 年春期） 67%（令和 7 年秋期）
	指標③：P&CR の利用者数	76 人/日（令和 7 年春期） 48 人/日（令和 7 年秋期）

(2) 施策の実施内容

施策 1) -1 観光周遊バスの運行

○ 観光周遊バス（奈良公園ぐるっとバス）について、運行形態を見直しながら、継続的に運行します。

令和 6 年度に実施したぐるっとバスの運行形態や運賃等の見直しにより、3 ルートあったぐるっとバスは、路線バスでの代替やルート統合を進めた結果、運行規模を大幅に縮小しました。一方、奈良公園内については、交通弱者への配慮や、若草山麓などでの徒歩移動の負担軽減、観光周遊を促すことを目的として、令和 7 年度から「奈良公園ぐるっとバス」を運行しています。

今後も利用実態の把握に努めるとともに、運行形態を継続的に見直しながら、観光周遊環境の充実を図ります。



図 6-1 奈良公園ぐるっとバスの運行ルート

奈良公園ぐるっとバスの車体は赤色をイメージカラーに採用しており、イメージの定着や乗り換え案内等に寄与しています。また、バス停のナンバリングや標柱におけるバス停名の多言語表示、バス停周辺マップや運行ダイヤ、運行日の分かりやすい表記などにより、情報の充実を図っています。



図 6-2 奈良公園ぐるっとバスのラッピングバス

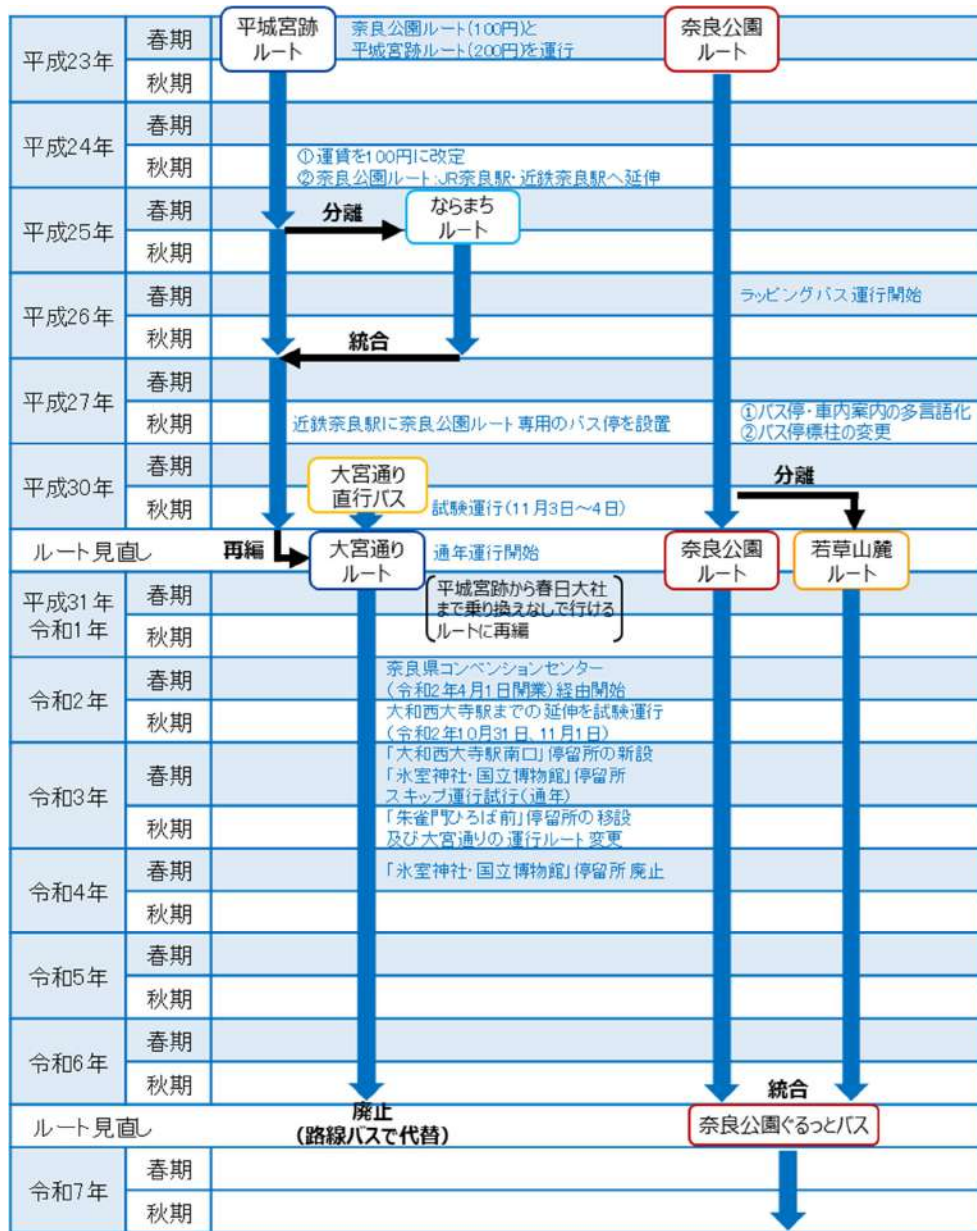


図 6-3 奈良公園ぐるっとバスのルートの変遷

施策 1) -2 自転車利用環境の充実

- P&R 駐車場にレンタサイクルやシェアサイクルを配備し、パーク&サイクルライド（P&CR）を実施します。
- シェアサイクルの広報により利用促進を図ります。

P&R 駐車場に、レンタサイクルを配備し、駐車場利用者に貸し出します。一部のレンタサイクルは放置自転車をリサイクルしています。また、シェアサイクルと連携し、駐車場利用者に通常料金より安価で貸し出します。

さらに、P&R チラシ等にシェアサイクルの情報を掲載し、利用促進を図ります。

(令和 7 年秋期)



図 6-4 レンタサイクルの貸出風景



図 6-5 シェアサイクルの掲載情報

施策 1) -3 シャトルバスの運行

- P&R 駐車場と奈良公園を結ぶ交通手段として、シャトルバスを運行し、P&R 駐車場の利便性向上を図ります。

P&R 駐車場と奈良公園を結ぶ交通手段として、通常運行している路線バスに加え、P&R 駐車場開設時期のみシャトルバスを運行し、P&R 駐車場の利便性向上を図ります。



図 6-6 シャトルバス・路線バス路線図 (R7 秋期)

施策 1) -4 歩行環境の整備

○ 奈良公園内を周遊する歩行者が安全かつ快適に通行できるよう、歩行環境の改善を図ります。

奈良の主要な観光地である奈良公園は、多くの観光客が訪れるエリアです。来訪された方が公園内を周遊する際に、安全かつ快適に通行できるよう、歩行環境の改善を進めていきます。



図 6-7 大仏殿前交差点東 停車帯

6.3.2 施策 2) 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築

(1) 施策の概要

項 目	内 容	
期 間	令和 8 年度～令和 10 年度	
概 要	情報案内強化による乗り継ぎ利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやパンフレットなどでバスルートなどの運行情報に関する案内を行います。
	奈良公園バスターミナルの利用環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良公園バスターミナルによる奈良公園中心部の交通混雑を抑制します。
モニタリング指標	指標①：奈良公園バスターミナルの利用台数	92 台/日 (令和 7 年度の平均)

(2) 施策の実施内容

施策 2) -1 情報案内強化による乗り継ぎ利便性の向上

○ ホームページやパンフレットなどでバスルートなどの運行情報に関する案内を行います。

県や交通事業関係者が運用するホームページやパンフレットなどで、奈良公園ぐるっとバスのバスルートなどの運行情報に関する情報発信を実施します。



図 6-8 図. 主要バス停位置
(HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」)

施策 2) -2 奈良公園バスターミナルの利用環境の充実

○ 奈良公園バスターミナルによる奈良公園中心部の交通混雑を抑制します。

平成 31 年 4 月 13 日に運営を開始した奈良公園バスターミナルは、観光バスの奈良公園中心部への乗り入れ抑制に効果を発揮しています。

また、奈良公園バスターミナルでは、観光バスから徒歩や自転車で奈良公園周辺へ周遊する環境を整備しています。また、奈良公園の魅力発信やレクチャーホール、休憩スペースなど、多くの機能があります。

今後も奈良公園バスターミナルを奈良公園のゲートウェイとして、利用環境の充実を図っていきます。



図 6-9 奈良公園バスターミナル

6.3.3 施策 3) 自動車の需要調整

(1) 施策の概要

項 目	内 容	
期 間	令和 8 年度～令和 10 年度	
概 要	P&R の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良中心市街地への自動車の流入を抑制するとともに、周遊観光を促進するため、国や県・市で連携して P&R を実施します。
	分かりやすい駐車場案内の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・道路交通の円滑化を図るため、誘導看板などによる駐車場への案内・誘導を実施します。 ・P&R 駐車場の満空情報を SNS 等で発信し、利用者の利便性向上を図ります。
	帰宅車両の交通集中の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅時間の分散を促す等により、夕方に集中する大宮通りの交通集中の緩和を図ります。
	奈良中心市街地の混雑情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」で、リアルタイムの道路混雑状況を配信します。 ・道路上では、LED ビジョントラック等により奈良公園周辺の道路情報の提供を行います。
	公営駐車場の料金設定の調整	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良公園内自動車駐車場の駐車料金の検討を進めていきます。
モニタリング 指標	指標①：P&R 駐車場の利用台数	425 台/日（令和 7 年春期） 335 台/日（令和 7 年秋期）
	指標②：P&R 駐車場の認知度と今後の利用意向	〈認知度〉
		38%（令和 7 年春期）
		43%（令和 7 年秋期）
	指標③：帰宅車両の大宮通り経由率	〈今後の利用意向〉
		98%（令和 7 年春期）
		99%（令和 7 年秋期）
	指標③：帰宅車両の大宮通り経由率	90%（令和 7 年春期）
		86%（令和 7 年秋期）

(2) 施策の実施内容

施策 3) -1 P&R の実施

○ 奈良中心市街地への自動車の流入を抑制するため、「国道 24 号高架下駐車場」、「奈良市役所駐車場」、「奈良県コンベンションセンター駐車場」などで P&R を実施します。

令和 8 年春期の P&R 駐車場は、「国道 24 号高架下駐車場」、「奈良市役所駐車場」、「奈良県コンベンションセンター駐車場」、「県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車場」の計 4 箇所を予定しています。



図 6-10 P&R 駐車場マップ

			無料駐車場						有料駐車場		
			中町 駐車場	奈良阪 駐車場	天理 駐車場	奈良市役所 駐車場	R24高架下 駐車場	南宮奈良めり 平城宮跡前 自動車駐車場	ミナール 第2駐車場	奈良市営JR 奈良駅駐車場	奈良県 コンベンションセンター 駐車場
平成23年	4箇所	春期	↓	↓	↓	↓					
		秋期									
平成24年	3箇所	春期									
		秋期	↓								
平成25年	2箇所	春期		↓			↓				
		秋期									
平成26年	2箇所	春期									
		秋期									
平成27年	2箇所	春期									
		秋期									
平成28年	2箇所	春期									
		秋期									
平成29年	2箇所	春期									
		秋期									
平成30年	3箇所	春期									
	4箇所	秋期									
平成31年	3箇所	春期							↓	中止	
令和1年	4箇所	秋期				↓	↓		↓	↓	
令和2年	2箇所	春期				中止	中止			中止	
	3箇所	秋期				↓	↓			中止	↓
令和3年	3箇所	春期				中止	中止			中止	
	秋期				中止	↓				↓	
令和4年	3箇所	春期				中止	↓				
	秋期				中止	↓					
令和5年	4箇所	春期									
	3箇所	秋期				中止					
令和6年	3箇所	春期				臨時					
	4箇所	秋期				↓					
令和7年	4箇所	春期				↓					
	5箇所	秋期				↓	↓	↓			↓

図 6-51 P&R の変遷

施策 3) -2 分かりやすい駐車場案内の実施

- 道路交通の円滑化を図るため、誘導看板などによる駐車場への案内・誘導を実施します。
- P&R 駐車場の満空情報を SNS 等で発信し、利用者の利便性向上を図ります。

道路交通の円滑化を図るため、P&R 駐車場の誘導看板などを設置し、駐車場への案内・誘導を実施します。

SNS 等でリアルタイムの満空情報を発信するなど、P&R 駐車場の利便性向上を図ります。



図 6-62 P&R 駐車場の誘導看板



図 6-73 X アカウントでの満空情報発信

施策 3) -3 帰宅車両の交通集中の緩和

- 帰宅時間の分散を促す等により、夕方に集中する大宮通りの交通集中の緩和を図ります。

帰宅車両の大宮通りへの交通集中を緩和するため、三条通りへの迂回誘導を目的とした看板などを設置する等、経路分散を図ります。

また、P&R 駐車場の開設時間を夜間まで開設した上で、夜間イベントや飲食店の案内等を提供することにより帰宅時間分散を促します。



図 6-84 迂回誘導看板の設置



図 6-95 デジタルサイネージによる周知

施策 3) -4 奈良中心市街地の混雑情報の発信

- HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」で、リアルタイムの道路混雑状況を配信します。
- 道路上では、LED ビジョントラック等により奈良公園周辺の道路情報の提供を行います。

ウェブカメラにより、リアルタイムの交通状況を HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」で情報提供しています。また、奈良公園方面に向かう車両に向けて、LED ビジョントラック等により、渋滞状況等を発信し、流入抑制を図ります。

さらに、令和 7 年秋期から AI による渋滞予測を行い、事前に混雑見込みを発信するなど、今後も進歩する渋滞解析及び予測技術を用い、利便性の向上を図ります。



図 6-106 ウェブカメラによるリアルタイム情報提供

施策 3) -5 公営駐車場の料金設定の調整

- 奈良公園内自動車駐車場の駐車料金の検討を進めていきます。

奈良公園内の駐車場では、春・秋の観光シーズンや正倉院展の開催期間、年末年始などに、平日であってもたびたび満車が発生し、駐車待ち車両の列が、通過交通の支障となっています。公共交通機関への利用転換の促進や、利用状況に応じた料金体系の検討を進めていきます。



図 6-117 奈良登大路自動車駐車場の混雑状況

6.3.4 施策 4) 公共交通利用促進に資する効果的な広報

(1) 施策の概要

項 目	内 容	
期 間	令和 8 年度～令和 10 年度	
概 要	公共交通利用者への広報	・公共交通や P&R の利用促進を図るため、鉄道駅や高速 SA/PA 等でチラシやポスター等による広報を実施します。
	観光パンフレットを用いた広報	・観光パンフレットなどに道路混雑情報や公共交通の利用案内を掲載します。
	ホームページの充実	・「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」の情報充実や利便性向上を図ります。
	SNS を利用した広報	・奈良中心市街地の渋滞状況や交通対策の情報発信を目的に、Instagram 等の SNS を利用した広報を実施します。
モニタリング指標	指標①：ホームページアクセス数	〈「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」アクセス数〉 15,432 回/月（令和 7 年 1 月～12 月）

(2) 施策の実施内容

施策 4) -1 公共交通利用者への広報

○ 公共交通や P&R の利用促進を図るため、鉄道駅や高速 SA/PA 等でチラシやポスター等による広報を実施します。

公共交通や P&R の利用促進の広報については、広報媒体のデザインを分かりやすく改善し、ぐるっとバスのルート案内する「奈良公園 WALKING MAP」を作成します。また、P&R に関してはチラシ・ポスターを年 2 回（春期・秋期）作成します。

また、広報媒体は交通事業者等に協力いただいて、鉄道駅や高速 SA/PA 等各所でチラシの留め置きとポスターの掲示を実施します。

（令和 7 年秋期）



図 6-128 奈良公園 WALKING MAP



図 6-139 P&R のポスター

施策 4) -2 観光パンフレットを用いた広報

○ 観光パンフレットなどに道路混雑情報や公共交通の利用案内を掲載します。

奈良市が発行する観光パンフレット「ならり」などにおいて、行楽シーズンの奈良公園周辺道路の混雑情報や奈良中心市街地への公共交通を利用したアクセス方法を掲載し、公共交通の利用促進を図ります。



図 6-14 ならり

施策 4) -3 ホームページの充実

○ 「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」の情報充実や利便性向上を図ります。

ホームページ「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」において、ぐるっとバスや路線バス、P&R に関する情報、企画乗車券等の情報、奈良公園周辺のウェブカメラを発信しています。さらに、令和 7 年秋期から AI による渋滞予測を行い、事前に混雑見込みを掲載するなど、今後も進歩する渋滞解析及び予測技術を用い、利便性の向上を図ります。



図 6-15 奈良公園・平城宮跡アクセスナビ

施策 4) -4 SNS を利用した広報

○ 奈良中心市街地の渋滞状況や交通対策の情報発信を目的に、Instagram 等の SNS を利用した広報を実施します。

X 等の SNS を通じて、観光シーズンの渋滞状況や、ぐるっとバスの運行、P&R 駐車場の開設など交通対策に関する情報をリアルタイムに発信します。

また、他機関が所有する SNS アカウントにおいても協力を依頼し、発信するなどの観光情報と合わせた広報を実施します。



図 6-162 投稿イメージ

6.3.5 施策 5) モビリティ・マネジメントの実施

(1) 施策の概要

項 目	内 容	
期 間	令和 8 年度～令和 10 年度	
概 要	モビリティ・マネジメントの実施	・事業所に対して、「エコ通勤」に関するチラシの配布や、企業インセンティブとして「エコ通勤優良事業所認証登録」の情報を共有するなど、公共交通利用への意識転換を図ります。
モニタリング指標	指標①：マイカー通勤抑制措置の取組割合	36%（令和 7 年度）
	指標②：エコ通勤優良事業所認証登録された事業所数	2 事業所（令和 7 年度）

(2) 施策の実施内容

施策 5) -1 モビリティ・マネジメントの実施

○ 事業所に対して、「エコ通勤」に関するチラシの配布や、企業インセンティブとして「エコ通勤優良事業所認証登録」の情報を共有するなど、公共交通利用への意識転換を図ります。

事業所に対して、「エコ通勤」に関するチラシの配布や、「エコ通勤優良事業所認証登録」の情報も共有します。エコ通勤優良事業所が実施する取組を市ホームページで取り上げるなど、エコ通勤に対するインセンティブとなるような取組を進めます。

また、平成 29 年 1 月より毎年実施している、マイカー通勤の実態把握と「エコ通勤」の啓発のためのアンケート調査の対象を拡大します。



図 6-173 「エコ通勤」に関するチラシ

7. 推進体制

7.1 推進体系

本計画を確実に推進し、実現していくためには、住民や観光客、交通事業者、行政などの関係主体が自らの役割を認識し、分担・協力しながら事業を推進することが重要です。

各関係主体は、奈良中心市街地の交通状況及び課題、基本理念・目標を相互に理解・共有し、緊密な連携を図りながらより快適な観光及び日常生活の実現に向けて、公共交通で快適に移動できる地域の創出を進めていくこととします。

表 7-1 関係主体の役割

主体	役割
住民など	無駄な自動車利用を減らして公共交通を積極的に利用する役割を担う。 啓発活動などを通して、通勤、通学、私用などの全ての移動において、公共交通を使う意識を醸成する。
観光客	広報などを確認して公共交通を利用する役割を担う。 やむを得ず自動車で来訪する観光客は、P&R を積極的に利用する役割を担う。
交通事業者	企画切符などのサービスや広報活動をさらに充実させ、行政との連携を図りつつ公共交通利用促進を図る役割を担う。また、交通モード間での連絡強化を図り、利便性の高い公共交通を構築する。
行政	市・県・国が協働し、円滑な事業実施に努めるとともに、公共交通利用促進に関して、交通事業者を支援する役割を担う。

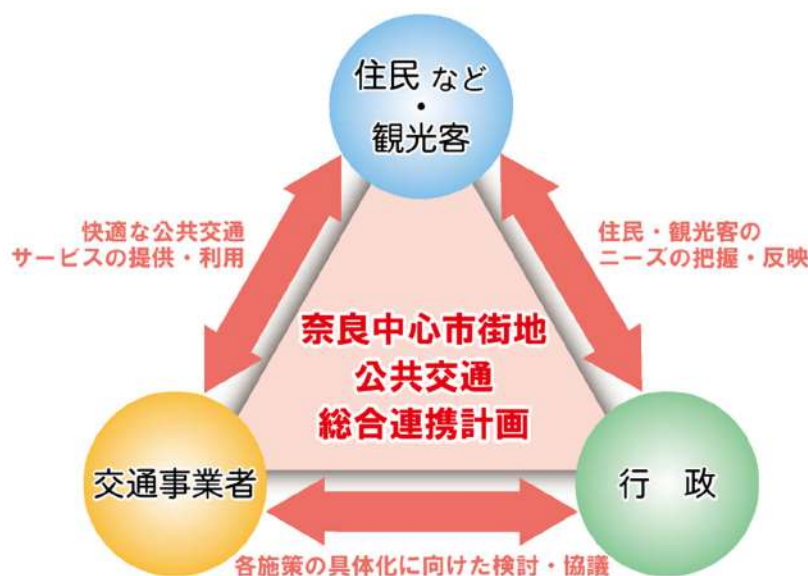


図 7-1 事業の推進体系

7.2 PDCA サイクルによる事業推進

奈良中心市街地における公共交通を取り巻く環境（利用状況、交通事業者の状況、行政の財政状況、社会状況など）は、時間の経過とともに今後も変化することが予想されるため、本計画で定める事業内容においても、その変化に適切に対応すべく、定期的な見直しを行うことによって、持続可能な公共交通の確立を図ることが重要です。

そこで、本計画では、PDCA サイクルによって、「計画の策定（Plan）、事業実施（Do）、評価（Check）、柔軟な見直し（Action）」についてマネジメントを行い、効率的かつ効果的な事業の実施へとスパイラルアップを図ります。今後も定期的に協議会を開催し、PDCA サイクルに従って評価を行いながら、改善を図りつつ、各事業を推進していきます。



図 7-2 PDCA サイクルによるスパイラルアップのイメージ

資料編

【参考資料 1】検討の経緯

平成 22 年 3 月の奈良中心市街地公共交通活性化協議会の設立後、施策の実施状況や目標値の達成状況について報告し、PDCA により継続的に施策展開を実施しています。

表 検討の経緯

年月日	委員会名	概要
平成 22 年 3 月 16 日	第 1 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 協議会設置規約（案）について 協議会財務規程（案）について 協議会事務局規程（案）について 監事の指名について 平成 22 年度事業計画（案）について 平成 22 年度予算（案）について
平成 22 年 6 月 28 日	第 2 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 協議会設置規約の改正（案）について 奈良中心市街地公共交通活性化協議会予算変更（案）について 公共交通総合連携計画の策定について
平成 23 年 1 月 17 日	第 3 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 前回のおさらい 公共交通施策の検討（観光交通）について 公共交通施策の検討（日常交通）について
平成 23 年 2 月 28 日	第 4 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 総合連携計画（案）について
平成 23 年 3 月	—	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定
平成 23 年 8 月 22 日	第 5 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 奈良市地域公共交通活性化協議会準備会との合併について 設置規約及び事務局規程の改正等について 平成 22 年度決算及び平成 23 年度予算（案）について 検討の流れについて 観光交通対策の取り組み状況について 平日交通対策について
平成 24 年 1 月 19 日	第 6 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年度事業と今後の進め方について その他
平成 24 年 3 月 22 日	第 7 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> 奈良公園ぐるっとバス 平成 24 年春の実施内容（案）について 木筒型一日フリー乗車券 平成 24 年春の実施内容（案）について 平成 24 年度予算案について
平成 24 年 8 月	—	奈良市中心市街地公共交通総合連携計画の策定 ※日常交通対策の追加
平成 24 年 8 月 10 日	第 8 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 規約の変更について 平成 23 年度の決算及び監査報告について 平成 24 年度の予算について 奈良中心市街地公共交通総合連携計画の変更について 平成 24 年春の観光シーズンにおける実施事業と、秋の観光シーズンにおける実施予定事業について 平成 24 年度の日常交通における実施予定事業について その他
平成 25 年 2 月 13 日	第 9 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 奈良公園ぐるっとバスについて 奈良観光周遊バスについて 木筒型一日フリー乗車券について パーク&バスライド事業について 日常交通対策について アンケート調査票（事前・事後）について
平成 25 年 3 月 29 日	第 10 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度予算（案）について 本協議会の規約 変更（案）について
平成 25 年 7 月 5 日	第 11 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度夏以降のぐるっとバス運行について
平成 25 年 9 月 2 日	第 12 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度決算と監査報告について 春の取組結果についてと、秋以降の取組内容（案）について 奈良中心市街地公共交通総合連携計画について
平成 25 年 12 月 24 日	第 13 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度秋の取組結果（速報）及び、なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行について 奈良中心市街地公共交通総合連携計画次期計画（案）について
平成 26 年 2 月 26 日	第 14 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 観光交通対策について 平成 25 年度の取組結果及び、平成 26 年度の取組予定（案） 奈良中心市街地公共交通総合連携計画 平成 26 年度からの計画（案）

年月日	委員会名	概要
平成 26 年 3 月	—	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定
平成 26 年 3 月 26 日	第 15 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度予算(案)について 規約の変更(案)について
平成 26 年 8 月 20 日	第 16 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度秋以降の取組内容について
平成 26 年 12 月 22 日	第 17 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 連携計画の目標達成状況について 平成 26 年度春季・秋季の取組結果 なら瑠璃結期間のぐるっとバスの運行(案) 平成 27 年度の実施内容(案)(ぐるっとバス、奈良観光周遊バス、木筒型一日乗車券)
平成 27 年 2 月 16 日	第 18 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度の取組内容について
平成 27 年 3 月 19 日	第 19 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度予算(案)について
平成 27 年 9 月 1 日	第 20 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年秋期の取組内容について
平成 28 年 1 月 8 日	第 21 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度決算と監査報告 連携計画の目標達成状況(速報) 平成 27 年度春季・秋期の取組内容と結果(速報) 平成 28 年度の取組内容(案)
平成 28 年 3 月 25 日	第 22 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度予算(案)について
平成 28 年 4 月 20 日	第 23 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度の取組内容について
平成 28 年 8 月 19 日	第 24 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度決算と監査報告 連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) 平成 28 年春季の取組内容と結果(速報) 平成 28 年秋期の取組内容(案) 連携計画の見直し方針 設置規約等の改正
平成 28 年 12 月 19 日	第 25 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) 平成 28 年秋期の取組内容と結果(速報) 平成 29 年度の取組内容(案) 次期連携計画(案)
平成 29 年 2 月 13 日	第 26 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度春以降のぐるっとバス運行について
平成 29 年 3 月 17 日	第 27 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 奈良中心市街地公共交通総合連携計画(H29～31)について 平成 29 年度予算(案)について
平成 29 年 3 月	—	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定
平成 29 年 4 月 3 日	第 28 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度予算(案)補正について
平成 29 年 8 月 25 日	第 29 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度決算と監査報告 平成 29 年春季の取組内容と結果(速報) 連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) 平成 29 年秋期の取組内容(案)
平成 29 年 12 月 18 日	第 30 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年秋 期の取組内容と結果(速報) 連携計画の取組概要と目標達成状況(速報) 平成 30 年度 の取組内容(案)
平成 30 年 1 月 19 日	第 31 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> ぐるっとバスの取組内容(平城宮跡ルートバスの停名の変更) パーク&ライドの取組内容(奈良市役所駐車場の開設日の変更)
平成 30 年 2 月 15 日	第 32 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> ぐるっとバスの取組内容(運行日数の追加) パーク&ライドの取組内容(パーク&サイクルライド実施日の追加)
平成 30 年 3 月 23 日	第 33 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度予算(案)について
平成 30 年 8 月 10 日	第 34 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度決算と監査報告 平成 30 年春季の取組内容と結果(速報) 平成 30 年秋期の取組内容(案)

年月日	委員会名	概要
平成 31 年 1 月 18 日	第 35 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成 30 年秋期の取組内容と結果 ・平成 31 年度の取組内容（案）
平成 30 年 12 月 11 日	第 36 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・ぐるっとバスの取組内容 （奈良公園ルートの若草 山焼き実施日の運行内容 の変更）
平成 31 年 3 月 25 日	第 37 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・平成 31 年度予算（案）について
令和元年 7 月 30 日	第 38 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・平成 30 年度決算と監査報告 ・平成 31 年（令和元年）春期の 取組内容と結果 ・令和 元 年 秋期の取組内容（案） ・連携 計画 の見直し方針 ・設置規約 等 の 改正
令和元年 9 月 17 日	第 39 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・『平城宮跡・奈良公園秋のお得なぐるっとキャンペーン』の取組内容
令和元年 12 月 20 日	第 40 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・令和元年秋期の取組内容と結果 ・令和 2 年度以降の取組内容（案） ・次期連携計画（案）
令和 2 年 2 月 12 日	第 41 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・『平城宮跡・奈良公園春のお得なぐるっとキャンペーン』の取組内容 ・『奈良県コンベンションセンターオープン記念キャンペーン』の取組内容
令和 2 年 3 月 6 日	第 42 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・奈良中心市街地公共交通総合連携計画(R2～4)（案）について
令和 2 年 3 月	－	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定
令和 2 年 3 月 25 日	第 43 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・令和 2 年度予算（案） ・協議会規約変更（案）
令和 2 年 4 月 16 日	第 44 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・『令和 2 年度の取組内容変更（案）』 ・『平城宮跡・奈良公園 春のお得なぐるっとキャンペーン』の中止
令和 2 年 9 月 17 日	第 45 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・令和元年度（平成 31 年度）決算と監査報告 ・令和 2 年春期の取組内容と結果 ・令和 2 年秋期の取組内容（案） ・設置規約の改正 ・令和 2 年度予算補正（案）
令和 3 年 1 月 18 日	第 46 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・令和 2 年秋期の取組内容の概要 ・県庁東交差点の渋滞対策の結果と分析 ・ぐるっとバス大和寺駅延伸試験運行の結果と分析 ・令和 2 年秋期の取組内容と結果 ・令和 3 年度の取組内容（案）
令和 3 年 3 月 25 日	第 47 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・令和 3 年度予算（案）について ・取組内容変更（案）について
令和 3 年 7 月 20 日	第 48 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・令和 2 年度決算と監査報告 ・令和 3 年春期の取組概要 ・奈良中心市街地の渋滞状況と分析 ・令和 3 年春期の取組内容と結果 ・令和 3 年秋期の取組内容（案）
令和 4 年 1 月 18 日	第 49 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・令和 3 年秋期の取組概要 ・奈良中心市街地の渋滞状況と分析 ・連携計画の目標達成状況 ・令和 4 年度の取組内容（案） ・取組内容の変更（案） ・設置規約の改正（案）
令和 4 年 3 月 25 日	第 50 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・令和 3 年度予算補正（案）について ・令和 4 年度予算（案）について ・取組内容変更（案）について
令和 4 年 4 月 14 日	第 51 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	・協議会規約改正（案）について
令和 4 年 7 月 19 日	第 52 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	・令和 3 年度決算と監査報告 ・令和 4 年春期の取組概要と結果 ・令和 4 年春期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析 ・令和 4 年春期の連携計画の目標達成状況 ・令和 4 年秋期の取組内容（案） ・連携計画の見直し方針（案） ・協議会規約改正

年月日	委員会名	概要
令和 5 年 1 月 24 日	第 53 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年秋期の取組概要と結果 ・令和 4 年秋期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析 ・令和 4 年度の連携計画の目標達成状況 ・令和 5 年度の取組内容（案） ・奈良中心市街地公共交通総合連携計画 次期計画（案） ・協議会設置規約改正（案）
令和 5 年 3 月 10 日	第 54 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良中心市街地公共交通総合連携計画（令和 5 年 3 月）概要版（案） ・奈良中心市街地公共交通総合連携計画（令和 5 年 3 月）（案）
令和 5 年 3 月	—	奈良中心市街地公共交通総合連携計画の策定
令和 5 年 3 月 24 日	第 55 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度予算補正（案） ・令和 5 年度予算（案） ・令和 5 年度取組内容変更（案）
令和 5 年 7 月 28 日	第 56 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度決算と監査報告 ・令和 5 年春期の取組概要と結果 ・令和 5 年春期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析 ・令和 5 年春期の連携計画の目標達成状況 ・令和 5 年秋期の取組内容（案） ・協議会設置規約改正（案）
令和 6 年 1 月 23 日	第 57 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年秋期の取組概要と結果 ・令和 5 年秋期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析 ・令和 5 年秋期の連携計画の目標達成状況 ・令和 6 年度の取組内容（案）
令和 6 年 3 月 26 日	第 58 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度予算補正（案） ・令和 6 年度予算（案） ・令和 6 年度の取組内容変更（案）
令和 6 年 6 月 18 日	第 59 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会規約改正（案）
令和 6 年 7 月 22 日	第 60 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度決算と監査報告 ・令和 6 年春期の取組概要と結果 ・令和 6 年春期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析 ・令和 6 年春期の連携計画の目標達成状況 ・令和 6 年秋期の取組内容（案） ・『ぐるっとバス』のあり方検討 ・協議会規約改正（案）
令和 7 年 1 月 21 日	第 61 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年秋期の取組概要と結果 ・令和 6 年秋期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析 ・令和 6 年秋期の連携計画の目標達成状況 ・『ぐるっとバス』の見直し（案） ・令和 7 年度の取組内容（案） ・協議会規約改正（案）
令和 7 年 3 月 27 日	第 62 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度予算補正（案） ・令和 7 年度予算（案）
令和 7 年 10 月 6 日	第 63 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度決算と監査報告 ・令和 7 年春期の取組概要と結果 ・令和 7 年春期の奈良中心市街地の渋滞状況と分析 ・令和 7 年春期の連携計画の目標達成状況 ・令和 7 年秋期の取組内容（案） ・連携計画の見直し方針